

令和4年7月22日

公立大学法人奈良県立医科大学
法人企画部 新キャンパス・施設マネジメント課長

質問回答書

次の工事について、下記のとおり回答します。

工事番号：工第04-4号

工事名：奈良県立医科大学新キャンパス新築工事(建築工事)

No	質問	回答
1	(各棟共通) 大屋根屋根下地ルーフィングについて④軒先詳細図、⑥ケラバ詳細図では改質アスファルトルーフィング $t=1.0$ ですが⑧雪止め金具詳細図では発泡ポリエチレン $t=4.0$ と相違しています。④軒先詳細図等の改質アスファルトルーフィングを正と考えて宜しいでしょうか。 (6602・6603)	よろしいです。
2	(各棟共通) 軒先詳細図④内樋の下地に $t=20$ の板らしき記載あります。高圧木毛セメント板 $t=20$ と考えて宜しいでしょうか。 (6602)	よろしいです。
3	(各棟共通) 軒先詳細図④笠木下部に補強下地と記載ありますが仕様が不明です。片棟詳細図③に記載ある補強材同様高耐食性メッキ鋼板 $t=1.6$ と考えて宜しいでしょうか。 (6602)	よろしいです。
4	(各棟共通) 軒先詳細図④雪止め金具とは離れた部分に雪止めフレーム 高耐食性メッキ鋼板 $t=1.6$ とありますがこれは間違いと考えて宜しいでしょうか。間違いでなければ雪止めフレームの詳細をご指示下さい。 (6602)	よろしいです。「雪止めフレーム 高耐食性メッキ鋼板 $t=1.6$ 」は無いものとお考えください。

No	質 問	回 答
5	<p>(各棟共通) 下がり棟について、大和葺、一文字葺ともに補強材の仕様が不明です。笠木下部同様高耐食性メッキ鋼板 t=1.6と考えて宜しいでしょうか。 (6604)</p>	<p>よろしいです。</p>
6	<p>(各棟共通) 特殊平滑葺片棟包み下部に力板:ガルバリウム鋼板 t=0.4とあります。片棟内部の力板は屋根同材(フッ素ガルバリウム鋼板 t=0.5)ですがこの部分の力板はご指示通りガルバリウム鋼板 t=0.4として宜しいでしょうか。 (6605)</p>	<p>よろしいです。</p>
7	<p>(各棟共通) 軒先詳細図⑬にアルミ幕板の記載があります。アルミの厚み、表面仕上をご指示下さい。 (6605)</p>	<p>建築4104図および6512図を参照ください。</p>
8	<p>(各棟共通) 土工事の根切開始レベルについて確認ですが、現況図に表記しているレベルからと考えて宜しいでしょうか。(0025)</p>	<p>よろしいです。</p>
9	<p>(各棟共通) 上記質疑に関連して、回廊や廃棄物保管庫など付属棟の根切りは現況図で該当する範囲のレベルからと考えて宜しいでしょうか。 (0025)</p>	<p>よろしいです。</p>
10	<p>(各棟共通) 各棟柱リストでフープの形状は高強度せん断補強筋も含めて全てH形と考えて宜しいでしょうか。 (構造007・構造114・構造214)</p>	<p>高強度せん断補強筋は溶接閉鎖型、その他はH型としてください。</p>

No	質 問	回 答
11	<p>(各棟共通) 構造スリットの幅は鉄筋コンクリート造標準配筋図の壁スリット配筋の基準によると考えて宜しいでしょうか。(構造008)</p>	<p>よろしいです。</p>
12	<p>(各棟共通) 講義棟のPC梁KEYPLAN(1)～(2)で講堂図書棟にある様なPC緊張後コンクリート打設範囲の図示がありませんが、不要と考えると宜しいでしょうか。必要であれば範囲をご指示ください。 (構造221～222)</p>	<p>講義棟については、構造010図「10.壁の取り扱い 壁後打ちコンクリート」によります。</p>
13	<p>(各棟共通) また実習研究棟及び体育施設棟のPC梁KEYPLANにもPC緊張後コンクリート打設範囲の図示がありませんが、不要と考えると宜しいでしょうか。必要であれば範囲をご指示ください。 (構造321～322・421)</p>	<p>実習研究棟は、構造326図に記載の範囲をご確認ください。 体育施設棟は、不要と考えるとよろしいです。</p>
14	<p>(各棟共通) 構造特記仕様書の鉄筋の種類でD29はSD390とありますが、参考内訳書P52の講堂図書棟の鉄筋ではD29がSD345と相違しています。その他の棟も含めてD29は図面のSD390を正と考えると宜しいでしょうか。 (構造002・参考内訳書P52・189・302・419)</p>	<p>よろしいです。</p>
15	<p>(各棟共通) 講堂図書棟の矩計図で土間下にポリスチレンフォームとポリスチレンフィルムがありますが、各々地中梁際の立下りが必要であれば立下り幅をご指示ください。 (4101)</p>	<p>不要と考えるとください。</p>

No	質 問	回 答
16	<p>(各棟共通) 建設資材の不足による資材調達遅延時は工期延長は認められますでしょうか。</p>	<p>受注後に監督員と協議してください。</p>
17	<p>(共通) 現下の社会情勢の下、燃料費、鉄鋼や生コンなどの資材、人件費など短期間に急激な高騰により、所謂インフレ条項に基づく変更では実態との乖離が発生し受注者としても経営に影響を及ぼす事態に発展することも懸念されます。 このような状況を踏まえ、綿密な価格調査をしていただき、設計変更に反映いただけるものと理解してよろしいでしょうか。 また、資材の納品の遅延等、受注者の責によらない事象による適切な工期の変更も同様に設計変更の対象と理解してよろしいでしょうか。</p>	<p>受注後に監督員と協議してください。</p>
18	<p>(共通) 近隣家屋調査は実施済みであり工事費に含む事前事後の家屋調査費用はないものと考えてよろしいですか。ご指示ください。</p>	<p>よろしいです。</p>
19	<p>(共通) 工事費に含む各種式典費はないものと考えてよろしいですか。ご指示ください。</p>	<p>現場管理費に含まれるもの程度と考えており、起工式、竣工式の実施を想定しています。</p>
20	<p>(共通) 特記仕様書-2 5節13 工事費に含む室内空気濃度測定の箇所数をご指示ください。</p>	<p>建築2001図、共通事項 5. のとおりです。各棟仕上表の※印を確認ください。</p>

No	質 問	回 答
21	<p>(共通) 特記仕様書-3 2章 3(2)監督員事務所 備品の各数量をご指示ください。</p>	<p>監督員10名、工事監理者15名程度を想定し適宜各種備品数を見込んでください。</p>
22	<p>(共通) 特記仕様書-3 2章 3(3)施工図調整専任係員(2名)の配置期間数をご指示ください。</p>	<p>着工から工事に必要な全施工図の承認を得るまでの期間を想定し適宜見込んでください。</p>
23	<p>(共通) 山留計画図1(参考)及び山留計画図2(参考)は共に指定仮設であり工事費増減の対象になるものと考えてよろしいですか。ご指示ください。</p>	<p>原則任意仮設とお考えください。</p>
24	<p>(共通) 上記山留が指定仮設の場合、材料の設置期間を各棟別にご指示ください。</p>	<p>No23の回答と同じです。</p>
25	<p>(共通) 現場説明書(23)特に留意する事項の内、実習研究棟西側、講義棟東側、講堂図書棟北側付近に造成工事において設置した防火水槽があるとのことですが、その位置、深さ等わかる資料を提示願います。</p>	<p>防火水槽について、No25 別紙-1、2、3を参照してください。</p>
26	<p>(共通) 東西・南北構内道路は外構全体平面図(建築11001図)では本工事範囲外となっておりますが、仮設計画図(参考)では一部建築工事範囲と記載されています。東西・南北構内道路は本工事に含まないと考えてよろしいですか。本工事の場合はその内容、仕様のわかる図面、資料など提示願います。</p>	<p>よろしいです。</p>
27	<p>(共通) 仮設計画図(参考)記載の建築ヤード範囲の工事完了後は現状復旧と考えてよろしいですか。</p>	<p>原状復旧の上、建築11040図に記載の種子吹付が必要となります。</p>

No	質 問	回 答
28	<p>(共通) 現況図、仮設計画図(参考)記載の工事用通路 造成工事(建築工事にて借用)は工事期間中使用できるものとし、その復旧は建築ヤード範囲は現状復旧、外構範囲は仕上げるものと考えてよろしいですか。また、工事用通路、地元住民用通路の断面がわかる資料を提示願います。</p>	<p>「工事用通路 造成工事(建築工事にて借用)」は工事期間中使用できるものと考えてよろしいです。当該部分はヤード範囲は建築11040図に記載の種子吹付、外構範囲は各外構図面のとおり仕上げるものと考えてください。また、工事用通路、地元住民用通路の断面は造成工事にて設置予定ですが、現時点未確定です。工事着手時に確認してください。</p>
29	<p>(共通) 敷地西側道路は、工事期間中使用できるものとして考えてよろしいですか。</p>	<p>使用できないものとお考えください。</p>
30	<p>(共通) 特記仕様書10 17章カーテンウォール工事(建築0012図)に実物大模型製作の作成とありますが、その具体的な製作範囲のわかる図面、資料など提示願います。</p>	<p>No30 別紙ー1、2、3を参照してください。</p>
31	<p>(共通) 参考数量書 共通仮設費(積上)の内、試験費とモックアップの別紙がありません。(別紙00-140~143) 別紙の提示願います。</p>	<p>入札参加者に資料を別途送付させていただきます。</p>
32	<p>(共通) 構造451~455に示された鉄骨柱脚ゴム支承に関し、参考メーカーを御教示下さい。</p>	<p>参考メーカーは以下のとおりです。 ・株式会社川金コアテック ・株式会社ノナガセ ・株式会社ナスコ</p>
33	<p>(構造)<共通> 雑詳細図-2の軽微な立上りH400以下の配筋がありますがH400以上の場合は室内W150はD10@200シングルをダブル配筋、W180は同配筋と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構902)</p>	<p>H400を超える場合はD10をD13に読み替えてください。</p>

No	質 問	回 答
34	<p>(構造)〈共通〉 雑詳細図-1に犬走りがあります。コンクリート強度は構造特記仕様書-2の①設計基準強度、各種基礎(躯体と分離)FC21Nと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構002.901)</p>	<p>外構等雑コンクリート($F_c=21N$、$S=18$)としてください。</p>
35	<p>(構造)〈講義棟〉 地中大梁の増打ち要領が不明です。Xb4通り架構詳細図に4-D25 STP 13@200と図示されていますので全てこれに倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構 202.241)</p>	<p>RC梁の増し打ち部配筋は大梁・片持ち梁・小梁・基礎梁共に構造007図、10-6及び構造901図、「梁上端・下端・側面打増し要領(200mmを超える場合)」を適用としてください。</p>
36	<p>(構造)〈講義棟〉 1F伏図の地中小梁の増打ち要領が不明です。鉄筋コンクリート造標準配筋図-2及び雑詳細図-1に倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構 202.007.901)</p>	<p>RC梁の増し打ち部配筋は大梁・片持ち梁・小梁・基礎梁共に構造007図、10-6及び構造901図、「梁上端・下端・側面打増し要領(200mmを超える場合)」を適用としてください。</p>
37	<p>(構造)〈講義棟〉 1F伏図の小梁の増打ち要領が不明です。鉄筋コンクリート造標準配筋図-2及び雑詳細図-1に倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構 202.007.901)</p>	<p>RC梁の増し打ち部配筋は大梁・片持ち梁・小梁・基礎梁共に構造007図、10-6及び構造901図、「梁上端・下端・側面打増し要領(200mmを超える場合)」を適用としてください。</p>
38	<p>(構造)〈講義棟〉 軸組図において、各階外周部の腰壁H800の配筋詳細図が不明です。W18と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構 204.205)</p>	<p>図面右端に記載の共通事項のとおり、特記のない壁はW18としてください。</p>
39	<p>(構造)〈講堂図書棟〉 地中大梁の増打ち要領が不明です。講義棟のXb4通り架構詳細図に4-D25 STP 13@200と図示されていますので全てこれに倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構 102.141.241)</p>	<p>RC梁の増し打ち部配筋は大梁・片持ち梁・小梁・基礎梁共に構造007図、10-6及び構造901図、「梁上端・下端・側面打増し要領(200mmを超える場合)」を適用としてください。</p>

No	質 問	回 答
40	<p>(構造)〈講堂図書棟〉 1F伏図の地中小梁の増打ち要領が不明です。鉄筋コンクリート造標準配筋図-2及び雑詳細図-1に倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構 102.007.901)</p>	<p>RC梁の増し打ち部配筋は大梁・片持ち梁・小梁・基礎梁共に構造007図、10-6及び構造901図、「梁上端・下端・側面打増し要領(200mmを超える場合)」を適用としてください。</p>
41	<p>(構造)〈講堂図書棟〉 1F伏図の小梁の増打ち要領が不明です。鉄筋コンクリート造標準配筋図-2及び雑詳細図-1に倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構 102.007.901)</p>	<p>RC梁の増し打ち部配筋は大梁・片持ち梁・小梁・基礎梁共に構造007図、10-6及び構造901図、「梁上端・下端・側面打増し要領(200mmを超える場合)」を適用としてください。</p>
42	<p>(構造)〈実習研究棟〉 地中大梁の増打ち要領が不明です。Xc2通り架構詳細図に4-D25 STP 13@200と図示されていますので全てこれに倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構 302.351)</p>	<p>RC梁の増し打ち部配筋は大梁・片持ち梁・小梁・基礎梁共に構造007図、10-6及び構造901図、「梁上端・下端・側面打増し要領(200mmを超える場合)」を適用としてください。</p>
43	<p>(構造)〈実習研究棟〉 1F伏図の地中小梁の増打ち要領が不明です。鉄筋コンクリート造標準配筋図-2及び雑詳細図-1に倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構 302.007.901)</p>	<p>RC梁の増し打ち部配筋は大梁・片持ち梁・小梁・基礎梁共に構造007図、10-6及び構造901図、「梁上端・下端・側面打増し要領(200mmを超える場合)」を適用としてください。</p>
44	<p>(構造)〈実習研究棟〉 1F伏図の小梁の増打ち要領が不明です。鉄筋コンクリート造標準配筋図-2及び雑詳細図-1に倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構 302.007.901)</p>	<p>RC梁の増し打ち部配筋は大梁・片持ち梁・小梁・基礎梁共に構造007図、10-6及び構造901図、「梁上端・下端・側面打増し要領(200mmを超える場合)」を適用としてください。</p>
45	<p>(構造)〈体育施設棟〉 地中大梁の増打ち要領が不明です。講義棟のXb4通り架構詳細図に4-D25 STP 13@200と図示されていますので全てこれに倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構 402.461.241)</p>	<p>RC梁の増し打ち部配筋は大梁・片持ち梁・小梁・基礎梁共に構造007図、10-6及び構造901図、「梁上端・下端・側面打増し要領(200mmを超える場合)」を適用としてください。</p>

No	質 問	回 答
46	(構造)〈体育施設棟〉 1F伏図の地中小梁の増打ち要領が不明です。鉄筋コンクリート造標準配筋図-2及び雑詳細図-1に倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構 402.007.901)	RC梁の増し打ち部配筋は大梁・片持ち梁・小梁・基礎梁共に構造007図、10-6及び構造901図、「梁上端・下端・側面打増し要領(200mmを超える場合)」を適用としてください。
47	(構造)〈体育施設棟〉 1F伏図の小梁の増打ち要領が不明です。鉄筋コンクリート造標準配筋図-2及び雑詳細図-1に倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構 402.007.901)	RC梁の増し打ち部配筋は大梁・片持ち梁・小梁・基礎梁共に構造007図、10-6及び構造901図、「梁上端・下端・側面打増し要領(200mmを超える場合)」を適用としてください。
48	(構造)〈渡り廊下〉 渡り廊下の図面に註記がありません。回廊の註記と同様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構701.603)	よろしいです。
49	(構造)〈廃棄物置場〉 R階伏図の梁天端にフカンがありますが雑詳細図1の梁天端要領では補強筋はD19です。壁梁の主筋はD16ですので天端補強筋はD16と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構502.901図6613)	よろしいです。
50	(構造)〈ガスメーター置場〉 参考内訳にガスメーター置場がありますが構造図がありません。構造図を御指示下さい。	当該部の目隠しフェンスについて、鉄骨下地・基礎は設備置場の目隠しルーバーと同じ形式としてください。ただし、鉄骨支柱ピッチは@2000mm、基礎は立上りRC部をH800mmとし、地中部は目隠しルーバーと同一としてください。
51	(鉄骨)〈講義図書棟〉 SP1のベースプレートのサイズが不明です。500*500と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構117)	よろしいです。

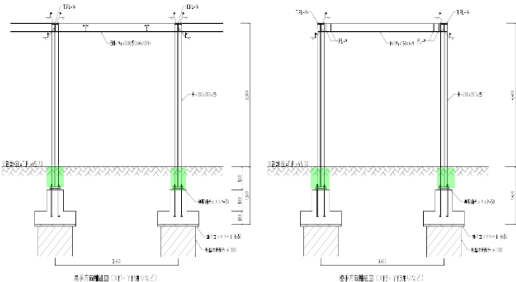
No	質 問	回 答
52	<p>(鉄骨)〈講義図書棟〉 SP2のベースプレートのサイズが不明です。 600*600と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構117)</p>	<p>よろしいです。</p>
53	<p>(鉄骨)〈講義図書棟〉 SP1とSP2のアンカーボルトの長さが不明です。 L=800と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構117)</p>	<p>よろしいです。</p>
54	<p>(鉄骨)〈講義図書棟〉 SB70Aのベースプレートのサイズとアンカーボルトの長さが不明です。BPL-19*500*900 A,BOLT 4-M20 L=800と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構117)</p>	<p>よろしいです。</p>
55	<p>(鉄骨)〈講義図書棟〉 SB40のベースプレートのサイズとアンカーボルトの長さが不明です。BPL-19*400*600 A,BOLT 4-M20 L=800と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構117)</p>	<p>よろしいです。</p>
56	<p>(鉄骨)〈講義図書棟〉 SB20のベースプレートのサイズとアンカーボルトの長さが不明です。BPL-19*400*400 A,BOLT 4-M20 L=800と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構117)</p>	<p>よろしいです。</p>
57	<p>(鉄骨)〈講義図書棟〉 段床Y軸組図において、長尺スタットの指示がありますが、長さが不明です。L=300と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構134)</p>	<p>よろしいです。</p>

No	質 問	回 答
58	<p>(鉄骨)〈講義図書棟〉 段床の鉄骨梁にスタッドボルトが必要と思われます。φ16 L=110@200シングル^の要領で見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構-134)</p>	<p>よろしいです。</p>
59	<p>(鉄骨)〈講義図書棟〉 SB35のベースプレートのサイズとアンカーボルトの長さが不明です。BPL-19*225*550 A,BOLT 6-M20 L=600と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構134)</p>	<p>ベースプレートはBPL-19*375*550としてください。 アンカーボルトはA,BOLT 6-M20 L=600としてください。</p>
60	<p>(鉄骨)〈講義図書棟〉 SB20Bのベースプレートのサイズとアンカーボルトの長さが不明です。BPL-19*300*400 A,BOLT 6-M20 L=600と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構134)</p>	<p>よろしいです。</p>
61	<p>(鉄骨)〈講義図書棟〉 SB10Cのベースプレートのサイズとアンカーボルトの長さが不明です。BPL-16*150*200 A,BOLT 2-M16 L=640と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構135)</p>	<p>よろしいです。</p>
62	<p>(鉄骨)〈講義図書棟〉 D材の使用箇所が不明です。御指示下さい。 (図6104-2)</p>	<p>D材の使用箇所はありません。</p>
63	<p>(鉄骨)〈回廊〉 回廊の母屋L-75-75*6の継手はGPL-6 HTB 2-M16として宜しいでしょうか。御指示下さい。 (構造604)</p>	<p>母屋L-75x75x6の継手は無しです。母屋端部仕口の要領は、構造604図に示すとおり、G.PL-9 HTB 2-M16とします。</p>

No	質 問	回 答
64	<p>(鉄骨)＜設備置場＞ 設備置場の階段の段板について、意匠図ではt=4.5、構造図ではt=6と相違しております。t=4.5を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図構803・図1505)</p>	<p>構造図(t=6.0)を正としてください。</p>
65	<p>(鉄骨)＜ガスメーター置場＞ 目隠しフェンスH=1500の鉄骨下地は設備置場の目隠しルーバーに倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図1503)</p>	<p>No50の回答と同じです。</p>
66	<p>(内部)＜共通＞ 壁種別L6においてボード下地は文字表記にてGB-Ft-21とありますが、寸法線はt=12.5と相違しております。文字表記のGB-Ft=21を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図6511)</p>	<p>GB-R t12.5としてください。</p>
67	<p>(内部)＜講義図書棟＞ 天井アルミカットパネル部の廻縁について、共通事項では、塩ビですが、アルミカットパネルの場合は、アルミと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図2001・2101)</p>	<p>よろしいです。</p>
68	<p>(内部)＜講義図書棟＞ 風除室2の天井高について、仕上表では、3000です。建具詳細図では、2700です。建具詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図2101・5124)</p>	<p>よろしいです。</p>
69	<p>(内部)＜講義図書棟＞ 風除室2のブラインドボックスについて、仕上表で見込んでいますが、天井伏図に記載がありません。天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。必要であれば、建具詳細図に詳細形状を御指示下さい。 (図2101・3101・5124)</p>	<p>よろしいです。</p>

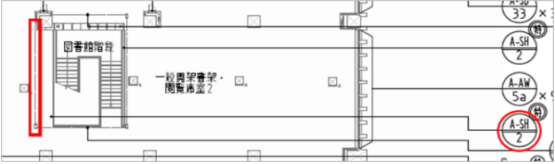
No	質 問	回 答
70	<p>(内部)〈講義図書棟〉 1F一般開架書架閲覧室1について、展開図D面では、化粧打放補修(杉本実型枠)ですが、平面詳細図では、R1(EP+コンクリート打放補修)で相違しています。展開図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図4122・4142)</p>	<p>よろしいです。</p>
71	<p>(内部)〈講義図書棟〉 1Fエントランスホール家具詳細図がありますが、平面詳細図では、配置する場所が不明です。1ヶ所設置と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図6110・4122)</p>	<p>よろしいです。</p>
72	<p>(内部)〈講義図書棟〉 2F一般開架書架・閲覧席室2の床について、一部CT-Bの範囲があります。床が-100下つていますので、この範囲にもフリーフロアを見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図4124)</p>	<p>よろしいです。</p>
73	<p>(建具)〈共通〉 アルミサッシ性能について、特記仕様書と建具詳細図で相違ヶ所がある場合、詳細図有りの建具のみは詳細図に記載の建具性能を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図0011・5121～5125他)</p>	<p>よろしいです。</p>
74	<p>(建具)〈講堂図書棟〉 A-SS-1について、建具表は11ヶ所ですが、建具キープランでは12ヶ所と数量が相違しています。建具キープラン数量を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (図5101～5102・5112)</p>	<p>12ヶ所とします。</p>
75	<p>(建具)〈講義棟〉 1F建具キープラン、風除室1～スタッフ事務室1間に見られる片開き戸がSD-7とありますが、建具表では形状・寸法が相違しています。SD-8と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(SD-7・8共 数量は建具表通り) (図5201・5211)</p>	<p>よろしいです。</p>


No	質 問	回 答															
76	<p>(建具)＜実習研究棟＞ 3F建具キープラン、WWC3部分にC-S-4(*2)とありますが、図示ヶ所は1ヶ所のみしか該当建具が不明です。3F、C-S-4は1ヶ所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (数量は建具表通り) (図5302・5313)</p>	<p>1箇所です。</p>															
77	<p>(建具)＜実習研究棟＞ 3F建具キープラン、北面C-AW-9(*18)とありますが、該当建具実数は16ヶ所と相違しています。北面C-AW-9は16ヶ所を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(数量は建具表通り) (図5302・5311)</p>	<p>16箇所です。</p>															
78	<p>(建具)＜体育施設棟＞ 建具表と建具キープランで下記の通り数量が相違しています。建具キープラン数量を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <table border="0" data-bbox="300 1064 734 1220"> <thead> <tr> <th></th> <th>建具表</th> <th>建具キープラン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□D-SD-13-1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>□D-SD-13-2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>□D-SD-14</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>□D-S-5</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		建具表	建具キープラン	□D-SD-13-1	2	1	□D-SD-13-2	1	2	□D-SD-14	6	7	□D-S-5	3	4	<p>D-SD-13-1: 建具表を正とし2としてください。 D-SD-13-2: 建具表を正とし1としてください D-SD-14: 8としてください。 D-S-5: 建具キープランを正とし4としてください。</p>
	建具表	建具キープラン															
□D-SD-13-1	2	1															
□D-SD-13-2	1	2															
□D-SD-14	6	7															
□D-S-5	3	4															
79	<p>【構造】(各棟共通) 構造特記6章コンクリート22に止水板の指示がありますがサイズが不明です。 6×150程度と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 (構造002)</p>	<p>よろしいです。</p>															
80	<p>【構造】(各棟共通) 講堂図書室他、建屋外壁にRCのリブ壁が見受けられますが、構造図で断面リスト等指示がありません。 下記程度と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 サイズ: 意匠図による 補強筋: KW20同程度 D13@150W (建築4102他、構造117他)</p>	<p>リブ壁については構造903図「リブ壁配筋詳細図」によるものとしてください。</p>															

No	質 問	回 答
81	<p>【構造】(講堂図書棟) 3階の梁符号G104aの腹筋が、姿図とリスト表で相違があります。 姿図を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 姿図:6-D10 表 :2-D10 (構造115)</p>	<p>姿図を正と考えてよろしいです。</p>
82	<p>【構造】(実習研究棟) 基礎梁符号FB305の下端筋が、姿図とリスト表で相違があります。 姿図を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 姿図:6-D19 表 :4-D19 (構造312)</p>	<p>リスト表を正としてください。</p>
83	<p>【構造】(回廊) 鉄骨柱地中埋設部分、添付緑色範囲に、下記程度の保護コンクリートを必要と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 サイズ基礎柱同様 補強主筋 D13-12程度 補強HOOP D13@100程度 (構造604)</p> 	<p>柱脚部は、当該範囲に保護コンクリートは必要です。天端レベルは、設計GLまでとします。 要領は、礎柱同様でよろしいです。</p>
84	<p>【鉄骨】 鉄骨梁貫通補強について、径および箇所数が不明です。鉄骨梁貫通補強の径および箇所数をご指示下さい。</p>	<p>鉄骨梁貫通補強は無しと考えてよろしいです。</p>
85	<p>【鉄骨】 構造131(講堂図書棟 エントランス庇詳細図-1)について、鉄骨部材リストの柱SC101(φ400×16)が規格にありません。O-406.4×16.9と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>SC101(φ400×16)の規格はありますので再度ご確認ください。(添付資料 No85 別紙-1、2、3を参照してください)</p>

No	質 問	回 答
86	<p>【鉄骨】 構造117、134、135の鉄骨部材リストについて、下記部材のアンカーボルトの長さが不明です。全て30dと考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>①構造117:柱SP1 ②構造117:柱SP2 ③構造134:柱SP20B ④構造134:梁SB20B ⑤構造134:梁SB35 ⑥構造135:柱PASP1 ⑦構造135:梁SB10C ⑧構造135:梁SB15B</p>	40dと考えてください。
87	<p>【鉄骨】 構造134(講堂図書棟 段床詳細図)について、梁上スタッドボルトの詳細が不明です。構造図239(講堂棟詳細図)のに倣い、下記のように考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>①仕様:19φ-1列 H100 ②割付ピッチ:@200</p>	よろしいです。
88	<p>【鉄骨】 意匠4101(講堂図書棟 矩計図1)、意匠4103(講堂図書棟 矩計図3)について、天井支持鉄骨(C-150×50×20×3.2 @900、C-100×50×20×2.3 @900)の図示がありますが、下記の不明点についてご指示下さい。</p> <p>①天井支持鉄骨の設置範囲をご指示下さい。</p> <p>②RC取り合い詳細(ベースプレート、アンカーボルト)をご指示下さい。</p>	<p>①3階の見上げのうち、RCスラブまたは梁の無い範囲の全てとします。</p> <p>②BPL-16*200*150、A-Bolt 2-M16、GPL-6、HTB 2-M16としてください。</p>
89	<p>【鉄骨】 意匠4402(体育施設棟 矩計図2)について、3階天井に吊りボルトを受ける鉄骨の図示がありますが、下記の不明点についてご指示下さい。</p> <p>①断面、割付ピッチは下記のように考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 L-150×100×12@900 C-100×50×20×2.3@900</p> <p>③天井下地受け鉄骨の設置範囲をご指示下さい。</p>	<p>①St PL-12 L-100×200@900 防錆塗装 C-100×50×20×2.3@900 防錆塗装としてください。</p> <p>②設置範囲は、No89 別紙 の赤ハッチ部分としてください。</p>

No	質 問	回 答
90	<p>【鉄骨】 エレベーターシャフト廻り鉄骨について、構造903(雑詳細図-3)EV中間梁・間柱と、意匠10101~10102、10203~10204(エレベーター詳細図)に記載されている鉄骨部材に相違があります。意匠10101~10102、10203~10204(エレベーター詳細図)を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>①構造903(雑詳細図-3)EV中間梁・間柱 柱:H-200×200×8×12 中間梁:H-200×100×5.5×8 ②意匠10101~10102、10203~10204(エレベーター詳細図) 柱:□-150×150×9 中間梁:H-150×150×7×10など</p>	<p>意匠図を正としてください。</p>
91	<p>【鉄骨】 意匠1503(設備置場・廃棄物保管庫 配置図)について、ガスメーター置場に目隠しフェンスH=1500の図示がありますが、下地鉄骨詳細が不明です。目隠しフェンス下地鉄骨の部材詳細(断面、継手、RC取り合い、部材配置など)をご指示下さい。</p>	<p>No50の回答と同じです。</p>
92	<p>【鉄骨】 参考明細について、実習研究棟の鉄骨工事にC-AD6支持鉄骨Cの記載がありますが、鉄骨詳細及び該当範囲が不明です。C-AD6支持鉄骨Cの部材詳細(断面、継手、RC取り合い、部材配置など)及び該当範囲をご指示下さい。</p>	<p>左記のC-AD-6をC-AD-4と読み替えていただき、建築5321図の詳細図に記載されている各鉄骨が該当するものとお考えください。</p>
93	<p>【内部】(各棟共通) 身障者WCの鏡の工事区分が下記のように異なります。建築工事と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 ・工事区分表:建築工事(建築0019) ・衛生器具表:設備工事(機械①502他)</p>	<p>工事区分表を正としてください。 (当該鏡は建築工事となります)</p>
94	<p>【建具】(講堂図書棟) A-SS-1の数量が建具表は11か所と建具キープランは15カ所と異なります。建具キープランを正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築5101)</p>	<p>12ヶ所とします。 講堂北側の「倉庫2」を指す「A-SS-1×3」は誤記です。</p>

No	質 問	回 答
95	<p>【建具】(講堂図書棟) 建具表 講堂図書棟2 A-FS-2の記載がありますが、建具キープランに符号がありません。講堂図書棟 2F平面詳細図-2より添付図赤枠のA-SH-2をA-FS-2に読み替えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築4124.5101.5112)</p> 	よろしいです。
96	<p>【建具】(講堂図書棟) 建具キープラン 講堂図書棟2 応接室北面にA-PT-7とありますが、建具詳細図 講堂図書棟10 PT詳細図3より両開き扉をA-PT-7a、2連両開き扉をA-PT-7bと考える宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築5102.5130)</p>	建築5130図に記載の展開図のとおりです。孫扉およびFIXパネルを含みます。
97	<p>【建具】(講堂図書棟) 建具表 講堂図書棟1 A-AW-3のW寸法が寸法欄はW778. 57、姿図指示はW730と異なります。W730を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築5111)</p>	よろしいです。
98	<p>【建具】(講堂図書棟) 建具表 講堂図書棟1 A-ACW-1の姿図に詳細図参照とありますが、W寸法が不明です。W19428. 5と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築5111.5124)</p>	よろしいです。
99	<p>【建具】(講堂図書棟) 建具表 講堂図書棟1 A-SD-9他仕上欄に化粧塩ビシートの記載がありますが、枠仕上が不明です。枠はSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築5111)</p>	化粧塩ビシート貼りとします。

No	質 問	回 答
100	<p>【建具】(講堂図書棟) 建具表 講堂図書棟2 A-P-1. 2 和室詳細図参照と記載がありますが、仕様が不明です。仕様をご指示下さい。 (建築5112)</p>	<p>建築6101図の展開図参照の上、腰付障子にて見込んでください。</p>
101	<p>【建具】(講義棟) 建具キープラン 講義棟12階臨床手技トレーニング室 PS(添付図赤枠)に片開き扉の図示がありますが、建具符号がありません。B-SD-10と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築5201.5211)</p>  <p>The diagram shows a floor plan of the 12th floor clinical skills training room. A red box highlights a door labeled 'PS' (Partially Opened Sliding Door). Other labels include '階段4' (Staircase 4), '吹抜' (Atrium), 'フーゴモ' (Foyer), '臨床手技トレーニング室' (Clinical Skills Training Room), and 'EPS' (Emergency Power Supply).</p>	<p>よろしいです。</p>
102	<p>【建具】(講義棟) 建具キープラン 講義棟1 1階スタッフ事務所1/風除室1間の片開き扉にB-SD-7とありますが、寸法及び型式が図示と異なります。B-SD-8に読み替えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築5201.5211)</p>	<p>よろしいです。</p>
103	<p>【建具】(講義棟) 建具表 講義棟1 B-SD-7の寸法が寸法欄はW5820×H2975、姿図指示はW6364×H2000と異なります。W6364×H2000を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築5211)</p>	<p>よろしいです。</p>
104	<p>【建具】(講義棟) B-SD-10. 14の寸法が建具表 講義棟1 寸法欄はW600×H2700、建具詳細図 講義棟7 SD詳細図1はW566×2596. 8と異なります。W566×2596. 8を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築5211.5227)</p>	<p>よろしいです。</p>

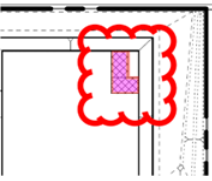
No	質 問	回 答
105	<p>【建具】(講義棟) B-SD-11の寸法が建具表 講義棟1 寸法欄はW1200×H2700、建具詳細図 講義棟7 SD詳細図1はW1174×2596.8と異なります。W1174×2596.8を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築5211.5228)</p>	<p>よろしいです。</p>
106	<p>【建具】(講義棟) 建具表 講義棟2 B-SD-S1他 仕上欄に化粧シートの記載がありますが、枠仕上が不明です。枠はSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築5111)</p>	<p>化粧塩ビシート貼りとしてください。</p>
107	<p>【建具】(講義棟) 建具表 講義棟2 B-SH-4 スラットの仕上が不明です。SOP塗装と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築5111)</p>	<p>よろしいです。</p>
108	<p>【建具】(講義棟) 建具表 講義棟2 B-SSH-1の仕上欄にステンレスと記載がありますが、仕上が不明です。HLと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築5111)</p>	<p>よろしいです。</p>
109	<p>【建具】(実習研究棟) 建具キープラン 実習研究棟2 3階北面にC-AW-9×18と記載がありますが、図示は16か所となっています。16か所を正とし、合計32か所と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築5302.5311)</p>	<p>No77の回答と同じです。</p>
110	<p>【建具】(実習研究棟) 建具キープラン 実習研究棟2 3階WWC3にC-S-4×2と記載がありますが、図示は1か所となっています。1か所を正とし、合計28か所と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築5302.5311)</p>	<p>No76の回答と同じです。</p>

No	質 問	回 答
111	<p>【建具】(実習研究棟) C-SD-17. 17aの寸法が建具表 実習研究棟1 寸法欄はW600×H2700、建具詳細図 講義棟7 SD詳細図1はW566×2596. 8と異なります。W566×2596. 8を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築5311.5227)</p>	よろしいです。
112	<p>【建具】(実習研究棟) C-SD-18. 18aの寸法が建具表 実習研究棟1 寸法欄はW1200×H2700、建具詳細図 講義棟7 SD詳細図1はW1174×2596. 8と異なります。W1174×2596. 8を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築5311.5228)</p>	よろしいです。
113	<p>【建具】(実習研究棟) C-SLW-3のH寸法が建具表 実習研究棟2 寸法欄はH3000、建具詳細図 講義棟18 SLW詳細図1はH2700と異なります。H2700を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築5238.5313)</p>	よろしいです。
114	<p>【建具】(実習研究棟) 建具表 実習研究棟2 C-SD-S1他 仕上欄に化粧シートの記載がありますが、枠仕上が不明です。枠はSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築5312)</p>	化粧塩ビシート貼りとしてください。
115	<p>【建具】(実習研究棟) 建具表 実習研究棟2 C-SH-4 スラットの仕上が不明です。SOP塗装と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築5312)</p>	よろしいです。
116	<p>【建具】(実習研究棟) 建具表 実習研究棟3 C-FS-1～8の仕上が不明です。ご指示下さい。(建築5312)</p>	講義棟シートシャッターB-FS各種と同様としてください。


No	質 問	回 答
117	<p>【建具】(体育施設棟) 下記建具の数量が建具表と建具キープラン で以下の様に異なります。建具キープランを 正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建具表) (建具キープラン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SD-13-1 2か所 1か所 ・SD-13-2 1か所 2か所 ・D-SD-14 6か所 7か所 ・D-S-5 3か所 4か所 <p>(建築5401.5402.5411.5412)</p>	No78の回答と同じです。
118	<p>【建具】(体育施設棟) 建具キープラン 体育施設棟1 1階 西面ア リーナにD-AW-3(1か所)とありますが、 図示は3か所となっています。D-AW-3 は3か所と考えて宜しいでしょうか。ご指示 下さい。 (建築5401.5411)</p>	よろしいです。
119	<p>【建具】(体育施設棟) 建具キープラン 体育施設棟1 1階 アリーナ 東面PSIにD-SD-12(1か所)とありま すが、図示は2か所となっています。2か所を 正とし、合計3か所と考えて宜しいでしょ うか。ご指示下さい。 (建築5401.5411)</p>	よろしいです。
120	<p>【建具】(体育施設棟) 建具表にD-SD-S1-3の記載がありま すが、建具キープランに符号がありません。 使用箇所欄より建具キープラン 体育施設棟 2 階 2のD-SD-S1-2をD-SD-S 1-3に読み替えて宜しいでしょうか。ご指 示下さい。 (建築5402.5412)</p>	よろしいです。
121	<p>【建具】(体育施設棟) 建具キープラン 体育施設棟1 1階 管理室 /ラウンジ1間にD-SW-1とありますが、 建具表に符号がありません。必要とし、仕様 は以下の様に考えて宜しいでしょうか。ご指 示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法:W1800×H1100 ・型式:引違い窓 ・仕上:SOP ・ガラス:フロートガラスT6(建築5401) 	建築6741図 Fc-3カウンターのガラス引戸と お考えください。

No	質 問	回 答
122	<p>【建具】(体育施設棟) 建具表 体育施設1 D-AW-4のW寸法が寸法欄はW1030、姿図指示はW1900と異なります。W1900を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築5411)</p>	<p>よろしいです。</p>
123	<p>【建具】(体育施設棟) 建具表 体育施設1 D-AW-9のH寸法が寸法欄はH3000、姿図指示はH2840と異なります。H2840を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築5411)</p>	<p>よろしいです。</p>
124	<p>【建具】(体育施設棟) 建具表 体育施設1 D-AW-14の寸法が寸法欄はW865×H4400、姿図指示はW4400×H865と異なります。W4400×H865を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築5411)</p>	<p>よろしいです。</p>
125	<p>【建具】(体育施設棟) 建具表 体育施設棟1 D-SD-22他仕上欄に化粧塩ビシートの記載がありますが、枠仕上が不明です。枠はSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築5411)</p>	<p>化粧塩ビシート貼りとしてください。</p>
126	<p>【建具】(体育施設棟) 建具表 体育施設棟1 D-SD-24の仕上欄にスパンドレル貼とありますが、枠仕上が不明です。枠はSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築5411)</p>	<p>枠の塗装は2-FUEとしてください。</p>
127	<p>【外構】 雨水排水平面図-1のUM2-1柵の流出管管底高が65.91の記載がありますが、柵蓋仕上げ高は65.40の記載があり、流出管管底高より低くなっています。流出管管底高を64.91と読み替えると考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築11024図)</p>	<p>よろしいです。</p>

No	質 問	回 答
128	<p>【外構】 雨水排水平面図－1～3の柵リスト下に※5)細破線表示の柵、管については建物際雨水排水等詳細図参照。の記載がありますが、柵については建物際雨水排水等詳細図に記載がありますが、柵～柵間の排水管については記載がありません。排水管の仕様、管径をご指示下さい。(建築11024図～11026図.11068図)</p>	<p>AVU①:VU管 150φ AVU②:VU管 250φ AVU③:VU管 350φ としてください。</p>
129	<p>【外構】 上記排水管について、AVU①～AVU③の記載がありますが、この記号の凡例の記載がありません。ご指示下さい。(建築11024図～11026図.11068図)</p>	<p>No128と同じ回答です。</p>
130	<p>【外構】 建物際雨水排水柵等詳細図の柵リストにAb-12～Ab-39までとAc-11～Ac-37までの仕様欄に、W600×D600×D1170などの様にH寸法部分にDの記載がありますが、全てHと読み替えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築11068図)</p>	<p>よろしいです。</p>
131	<p>【外構】 建物際雨水排水柵等詳細図の柵リストにAb-39の仕様欄に、W601×D601×D890の記載がありますが、W600×D600と読み替えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築11068図)</p>	<p>よろしいです。</p>
132	<p>【外構】 建物際雨水排水柵等詳細図の柵リストのAd-4のout-1レベルが65.760の記載がありますが、in-1レベル64.650よりレベルが高く排水ができません。柵高1480より、FH65.780-1.480+0.150=64.450と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築11068図)</p>	<p>建築11068図のAd-4柵リストについて ・in-1:65.85 ・out-1:64.65 とします。</p>
133	<p>【外構】 建物際雨水排水柵等詳細図に、クールヒートチューブ立上の記載がありますが、平面図には記載がありません。設置範囲とか所数をご指示下さい。(建築11068図)</p>	<p>建築11068図クールヒートチューブ立上詳細図の右下部に記載のとおり、講義棟の東側外構内に1箇所、実習研究棟の西側外構内に1箇所を見込むものとしてください。</p>

No	質 問	回 答																		
134	<p>【外構】 確認ですが、現況図(建築工事乗入時想定図)がありますが、造成完了後のレベルで、建築工事はこのレベルからの取り掛かりと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(建築0025図)</p>	よろしいです。																		
135	<p>【外構】 特記仕様書-15、舗装工事 2節-1路床の構成及び材料に、遮断層と安定処理に印がありますが、舗装詳細図-1~3の舗装構成では、遮断層、安定処理の記載がありません。全て不要と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 (建築0017図.建築11049図~11051図)</p>	よろしいです。																		
136	<p>【外構】 沈砂池の中に斜め格子の記載がありますが詳細が不明です。詳細を御指示下さい。</p>  <p>(建築11034図)</p>	別途工事の沈砂池のフィルターを示しています。本工事には不要なものとして捉えてください。																		
137	<p>【外構】 施設平面図-1の凡例に、下記項目の記載がありますが、凡例の数量と配置図の数量が異なります。配置図の数量を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p> <table border="1" data-bbox="288 1666 831 1861"> <thead> <tr> <th></th> <th>凡例</th> <th>配置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>車止めボラード</td> <td>16基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鎖付きボラード</td> <td>11基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3基</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(建築11033図)</p>		凡例	配置	図			車止めボラード	16基	1	4基			鎖付きボラード	11基	1	3基			配置図を正としてください。
	凡例	配置																		
図																				
車止めボラード	16基	1																		
4基																				
鎖付きボラード	11基	1																		
3基																				

No	質 問	回 答
138	<p>【外構】 施設詳細図の下記ベンチ、テーブル、縁台にコンクリート基礎の記載がありますが、配筋の記載がありません。全て無筋と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p> <p>①木製ベンチー1 ②木製ベンチー2 ③木製ベンチー3 ④木製テーブルー1 ⑤木製テーブルー2 ⑥縁台 (建築11063図～11065図)</p>	<p>①～⑥ともに有筋としてください。</p>
139	<p>【外構】 上記回答で鉄筋が必要な場合は、配筋が不明です。ご指示下さい。 (建築11063図～11065図)</p>	<p>両方向ともD10・D13@200ダブルとしてください。</p>
140	<p>【外構】 特記仕様書ー15 20ー2ー41外構等構造物のコンクリートにコンクリート強度の記載がありますが、構造特記仕様書ー2の外構等、雑コンクリートと異なります。特記仕様書ー15を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p> <p>・特記仕様書ー15:Fc=21N 無筋コンクリート Fc=18N スランプ15cm 強度補正記載無し ・構造特記仕様書ー2:Fc=21N スランプ18cm 強度補正有り (建築0017図.構造002図)</p>	<p>構造特記仕様書-2を正としてください。</p>
141	<p>【外構】 特記仕様書ー16 植栽工事に下記項目に印がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p> <p>①屋上緑化 ②灌水装置 ③樹名板(建築0018図)</p>	<p>よろしいです。</p>
142	<p>【外構】 上記回答で必要な場合は詳細が不明です。ご指示下さい。 (建築0018図)</p>	<p>No.141の回答と同じです。</p>

No	質 問	回 答
143	<p>【外構】 講義棟1階レストラン・カフェの前に人工ウッドデッキの記載がありますが、下記項目が不明です。ご指示下さい。 ①人工木ウッドデッキのメーカー名及び品番 ②土間スラブの配筋及び地業厚 (建築4201図)</p>	<p>①建築2001図に記載のとおりとします。 ②建築6514図のc-9にて土間スラブ詳細を記載しています。配筋については構造図を参照してください。</p>
144	<p>【外構】 講義棟1階風除室2前のYb1通りより外部側に土間スラブの記載がありますが、詳細が不明です。土間スラブ厚、配筋、地業厚をご指示下さい。 (建築4203図)</p> 	<p>建築6514図のc-9にて土間スラブ詳細を記載しています。配筋については構造図を参照してください。</p>
145	<p>【現場説明書・特記】 現場説明書 第3章特記事項(15)分離発注工事 各受注者間の総合打合せは監督員の名の元に主催され、運営・連絡調整されるものと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>各受注者間において協議の上、総合打合せを実施してください。</p>
146	<p>【現場説明書・特記】 入札説明書 3.技術提案書に関する事項「社会的要請の対応に関する項目③」 評価内容で、「転落事故防止対策」とありますが、「高所作業となるものが多い」と記載されていますので「墜落事故防止対策」も含めて考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
147	<p>【現場説明書・特記】 構造002 JASS5では、「調合管理強度が33N/mm2以上の場合は、工事監理者の許可を得て21cmとすることができる」と記載がありますが、該当する強度において変更可能でしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>受注後に監督員と協議してください。</p>

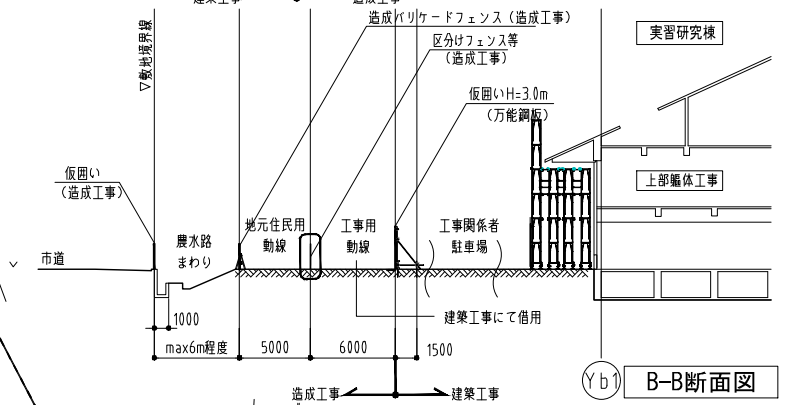
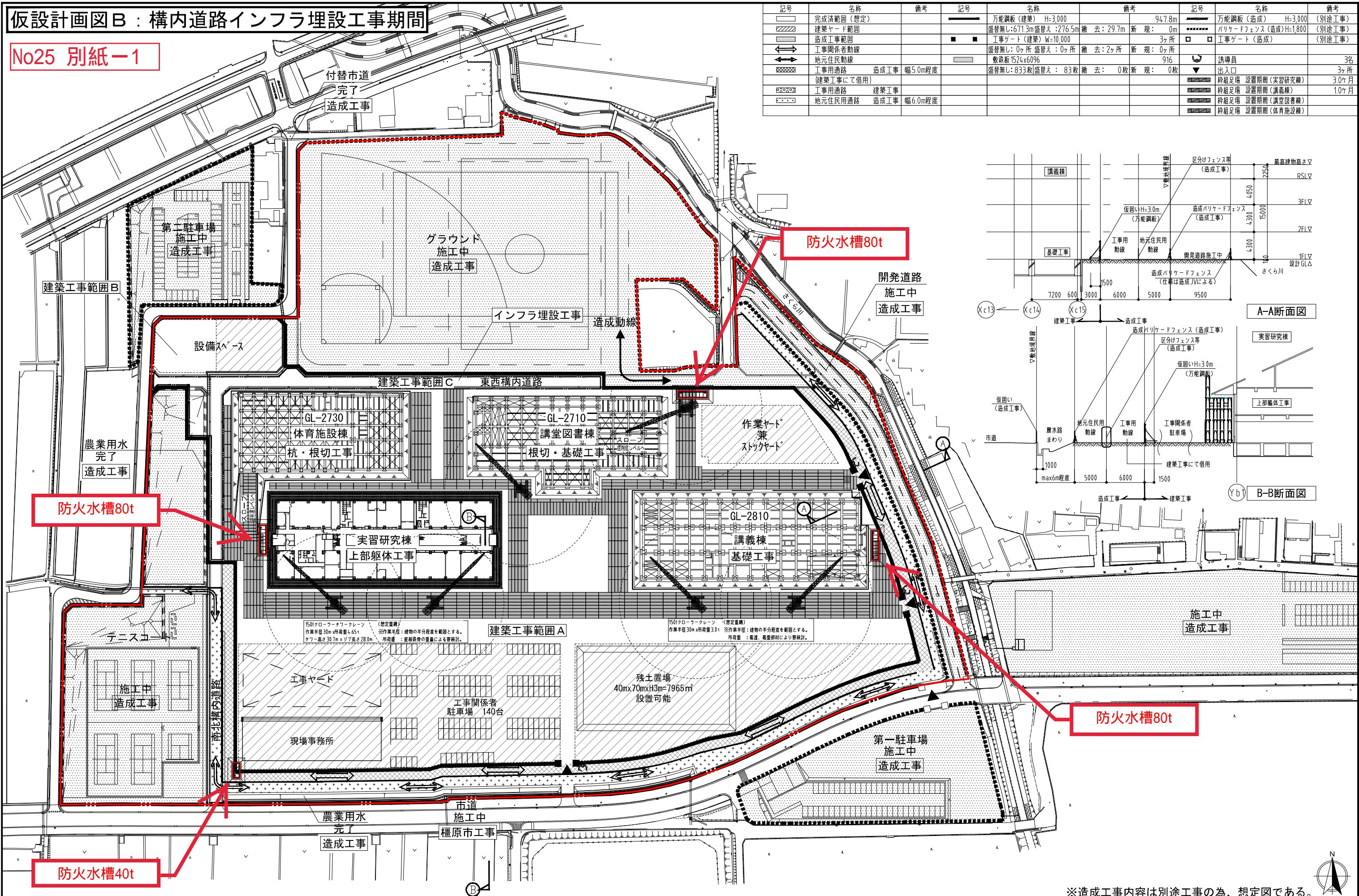
No	質 問	回 答
148	<p>【現場説明書・特記】 構造002 基礎のコンクリートの混和剤がAE減水剤と記載がありますが、配合上、適合しない場合は高性能AE減水剤と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>受注後に監督員と協議してください。</p>
149	<p>【現場説明書・特記】 建築0003 II 建築工事仕様 3.発注方式 (3)本工事期間内に行われる別途工事は造成工事と備品工事とありますが、加えて電気設備工事・空調設備工事・衛生設備工事も含まれると考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>電気設備工事と機械設備工事は分離発注工事です。</p>
150	<p>【現場説明書・特記】 建築0004 5節施工 13.室内空気汚染測定対象室・計測場所・箇所数が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>No20の回答と同じです。</p>
151	<p>【現場説明書・特記】 建築0005 2章仮設工事 3.監督員事務所 (3)施工図調整専任係員2名は監督員の指示とありますが、監督員事務所にて監督員の事務の補助のみに専任して、出向扱いと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>当該人員は施工図調整を専任で行い、受注者事務所に属す者であり、出向は不要です。</p>
152	<p>【現場説明書・特記】 建築10001 工事工程表は参考図です、と記載がありますが 各棟施工順序は自由に選定して、検査及び竣工・引渡しを一括にて2024年9月30日までに実施すると考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>原則、施工順序は受注者にて判断いただいてもよろしいですが、以下を考慮し詳細は監督員と協議の上決定するものとお考えください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただし、ZEB補助金事業対象工事については、現場説明書に基づいて工程を立案してください。 ※補助対象部位は金属勾配屋根、同軒天県産木材張部、医看合同講義室内装仕上県産木材部、南北立面RC躯体縦リブ、トップライト(B-TL1~4)、換気ガラ付軽量鋼製建具(B-LD4を除くB-LD全て)を想定していますが、補助金申請手続中により対象部位は減となる可能性があります。 ・別途発注の備品工事との調整を見込んでください(図書館書架架台 建築6106図・6107図 等)。

No	質 問	回 答
153	<p>【現場説明書・特記】 建築10011 仮設計画図は参考図です、と記載がありますが 工事用動線より、敷地内出入口場所は指定でなく 安全確保の為大型車両の入退場を簡易とする位置及び大きさに任意に変更しても宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>よろしいです。ただし、詳細は受注後に監督員と協議してください。</p>
154	<p>【現場説明書・特記】 指定仮設がある場合はご指示下さい。</p>	<p>指定仮設はありません。</p>
155	<p>【現場説明書・特記】 建築10011～10014 造成工事の搬出入車輛は、原則として図面に記載されている 「造成中」のエリアと構内道路に限定して通行と判断して宜しいでしょうか。 ご指示下さい。</p>	<p>左記に加えて、建築10011～10014図の凡例に記載の工事用通路(造成工事)を通行するものと考えてください。</p>

仮設計画図B：構内道路インフラ埋設工事期間

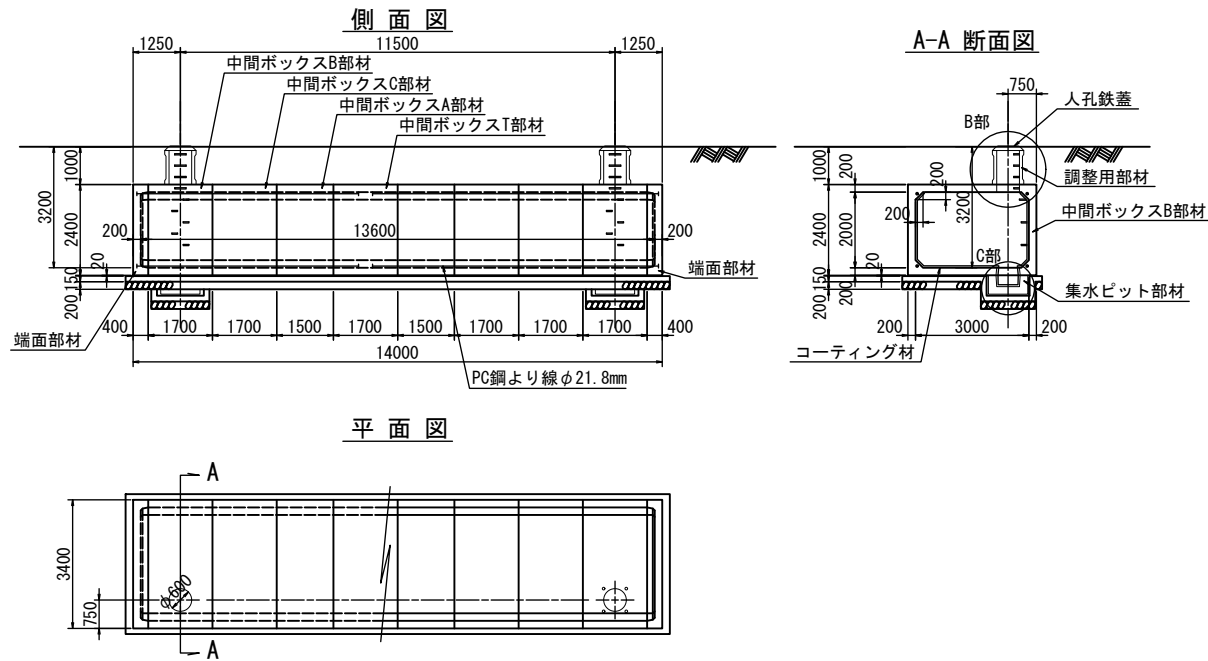
No25 別紙-1

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
□	完成済範囲 (想定)		—	万能鋼板 (建築) H=3,000	947.8m	—	万能鋼板 (造成)	H=3,000 (別途工事)
▨	建築ヤード範囲		—	盛替無し:671.3m 盛替え:276.5m	撤去:29.7m 新規:0m	—	バリケードフェンス (造成)	H=1,800 (別途工事)
▩	造成工事範囲		■	工事ゲート (建築) W=10,000	3ヶ所	□	工事ゲート (造成)	(別途工事)
→	工事関係者動線		—	盛替無し:0ヶ所 盛替え:0ヶ所	撤去:2ヶ所 新規:0ヶ所	—	誘導員	3名
↔	地元住民動線		—	敷鉄板 1524x6096	916	—	出入口	3ヶ所
→	工事用通路 (造成工事)	幅5.0m程度	—	盛替無し:833枚 盛替え:83枚	撤去:0枚 新規:0枚	—	枠組足場 設置期間 (実習研究棟)	3.0ヶ月
→	工事用通路 (建築工事にて借用)						枠組足場 設置期間 (講義棟)	1.0ヶ月
→	工事用通路 (建築工事)						枠組足場 設置期間 (講義図書棟)	
→	地元住民用通路 (造成工事)	幅6.0m程度					枠組足場 設置期間 (体育施設棟)	



耐震性貯水槽 T80-Ⅲ-A-0.0/1.5

組立図 A1 S=1:100
A3 S=1:200



止水仕様(防水工)材料表

種別	算式	数量
コーティング材	$(2.60 \times 2 \times 1.60 + 4 \times \sqrt{2} \times 0.20) \times (13.20 + 2 \times 0.20) + (3.00 \times 2.00 - 4 \times 0.20^2 / 2) \times 2 + 0.60 \times \pi \times 0.50 \times 2 + (2.60 + 2 \times 1.60 + 4 \times \sqrt{2} \times 0.20) \times 9 \times (0.0454 - 0.015) + 0.60 \times \pi \times 2 \times (0.0454 - 0.015) - 4 \times 0.330 \times 0.190$	109.8 m ²
コーキング材 1	$(2 \times 2.60 + 2 \times 1.60 + 4 \times \sqrt{2} \times 0.20) \times 9 + 0.64 \times \pi \times 2 \times 4 \times 1.040$	94.0 m
中間ボックス、端面部材	$(2 \times 2.80 + 2 \times 1.70 + 2 \times \pi \times 0.2) \times 9$	92.3 m
シール材	$(4 \times 0.84 + 0.2) \times 2$	7.1 m
集水ピット部材	$(2 \times \pi \times 0.34 + 0.2) \times 2 \times 2$	9.3 m
コーキング材 1	$0.04 / 3 \times (\pi \times 0.07^2 / 4 + \pi \times 0.06^2 / 2) + \sqrt{\pi \times 0.07^2 / 4 \times \pi \times 0.06^2 / 4} \times 8$	0.001 m ³
パッキン材	—	8ヶ

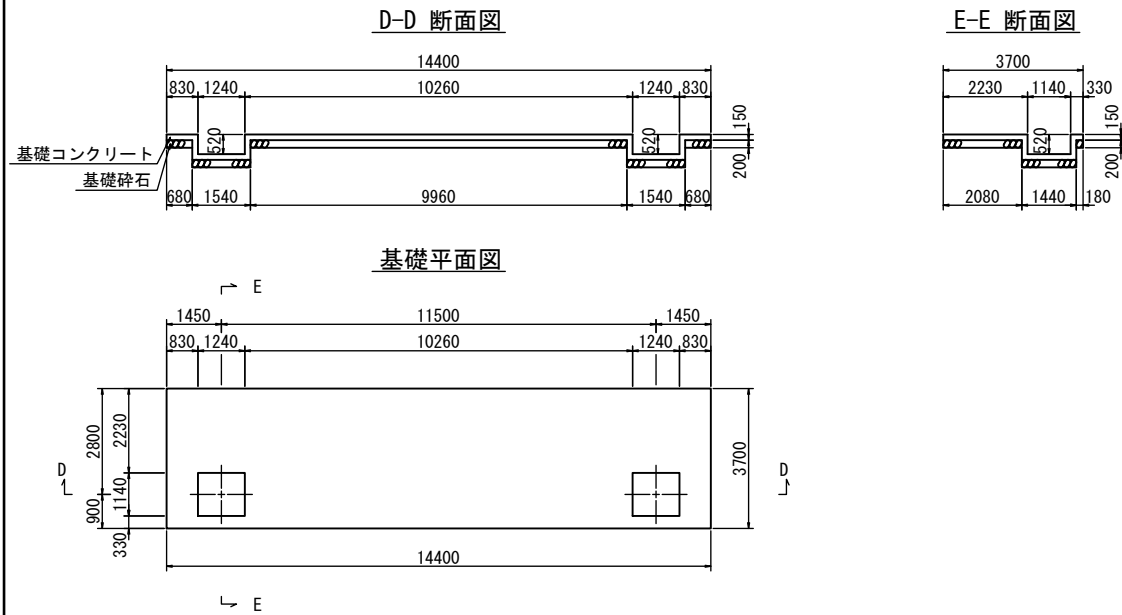
耐震性貯水槽明細書

型式番号	耐-96060-1号		
型式記号	T80-Ⅲ-A-0.0/1.5		
容量	80.42 m ³		
設計荷重	T-25		
設置場所	Ⅲ型		
土被り厚	1.000 m		
形状	横置ボックスカルバート型		
材料	規格または算式	数量	備考
中間ボックスA部材	3.4m x 2.4m x 1.5m	2個	
中間ボックスB部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	2個	
中間ボックスC部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	3個	
中間ボックスT部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	1個	
端面部材	3.4m x 2.4m x 0.4m	2個	
集水ピット部材	PH500(1.04m x 1.04m x 0.50m)	2個	
調整用部材	φ0.83m, RH900	2個	
PC鋼より線	φ21.8mm, L=16.0m	4本	SWPR19
定着具	アンカープレート, グリップ	8組	端面部材用
	アンカープレート, グリップ	8組	中間ボックスT部材用
グラウト	$0.12 / 3 \times \pi \times (0.08^2 \times 0.08 \times 0.07 + 0.07^2) \times 8 + 0.02 \times \pi \times 0.08^2 \times 8 + 13.450 \times \pi / 4 \times 0.035^2 \times 2 \times 4 + 0.005 \times 4 \times 1$	0.092 m ³	σ _{ck} =30 N/mm ²
緊結ボルト	M16, L=1.000m(ナット, 座金付)	6組	
人孔鉄蓋	φ600	2組	下記参照
六角ボルト	M20, L=200mm(ワッシャー付)	8組	
GキャップM	-	4組	
GキャップE	-	8組	

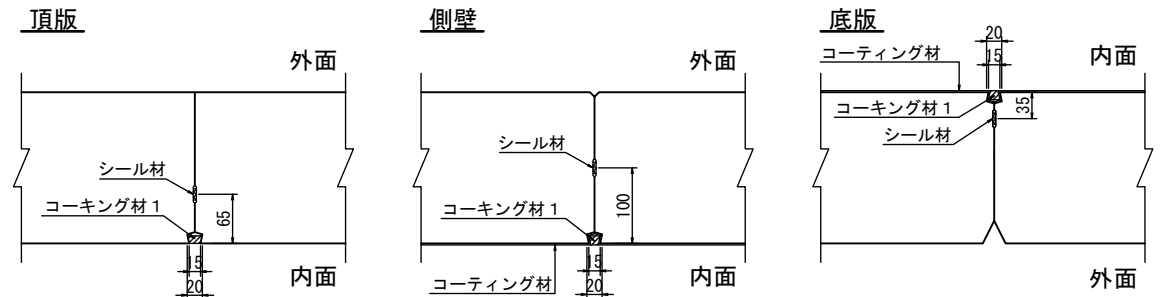
基礎数量表

種別	算式	数量	備考
基礎コンクリート	$(14.40 \times 3.70 + 2 \times (1.24 \times 1.14 + 2 \times 0.15) \times 0.52) \times 0.15$	8.828 m ³	σ _{ck} =18.0 N/mm ²
基礎型枠	$2 \times (14.40 + 3.70) \times 0.15 + 2 \times (4 \times (1.24 + 1.14) + 8 \times 0.15) \times 0.52$	16.579 m ²	
基礎砕石	14.40 x 3.70	53.280 m ²	t=0.20m
敷モルタル	$(14.00 \times 3.40 - 2 \times 1.24 \times 1.14) \times 0.02$	0.895 m ³	

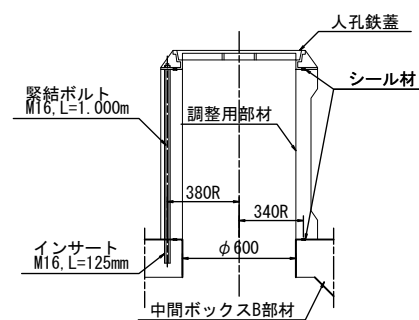
基礎図 A1 S=1:100
A3 S=1:200



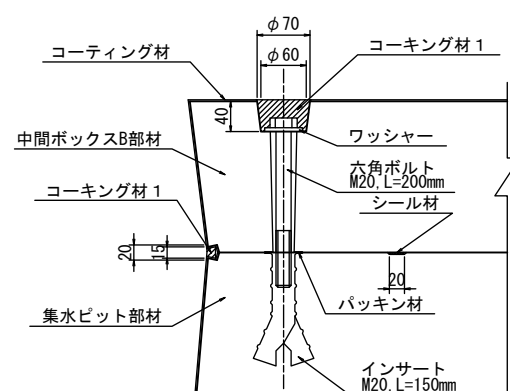
継手部詳細図 A1 S=1:5
A3 S=1:10



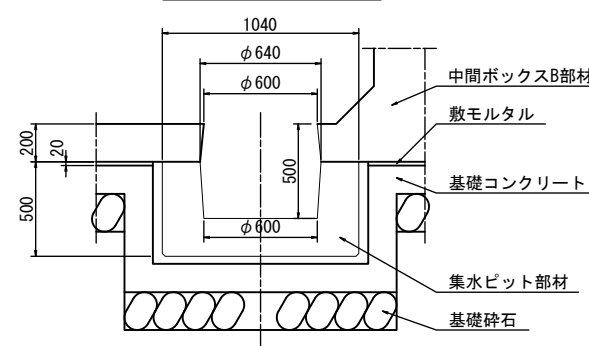
B部詳細図 A1 S=1:20
A3 S=1:40



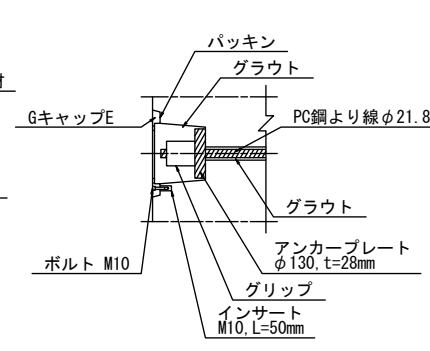
集水ピット連結部詳細図 A1 S=1:5
A3 S=1:10



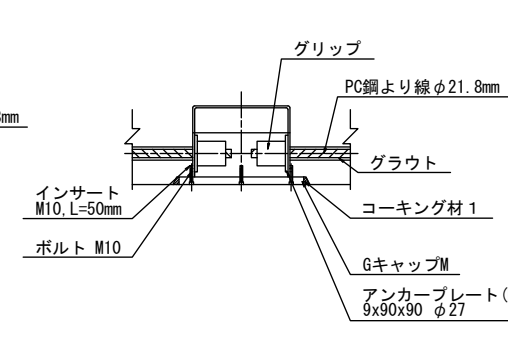
C部詳細図 A1 S=1:20
A3 S=1:40



PC鋼より線定着部詳細図(1) A1 S=1:10
A3 S=1:20

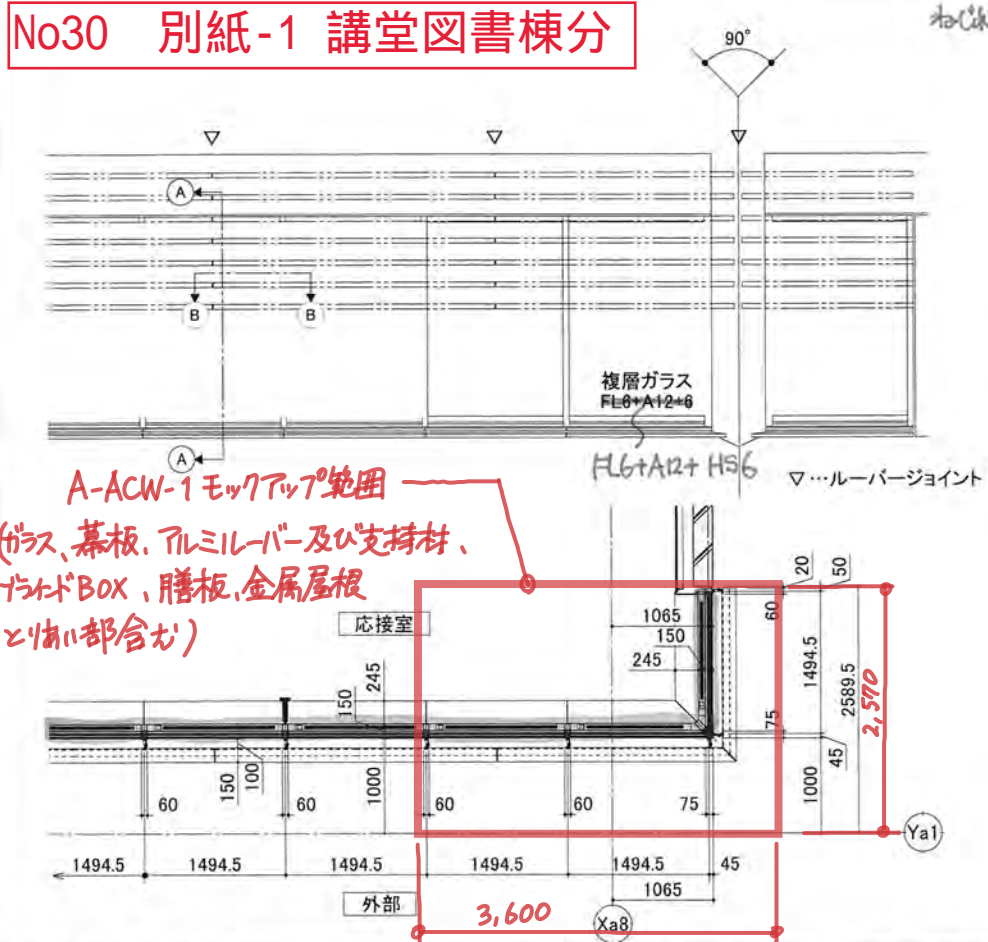


PC鋼より線定着部詳細図(2) A1 S=1:10
A3 S=1:20

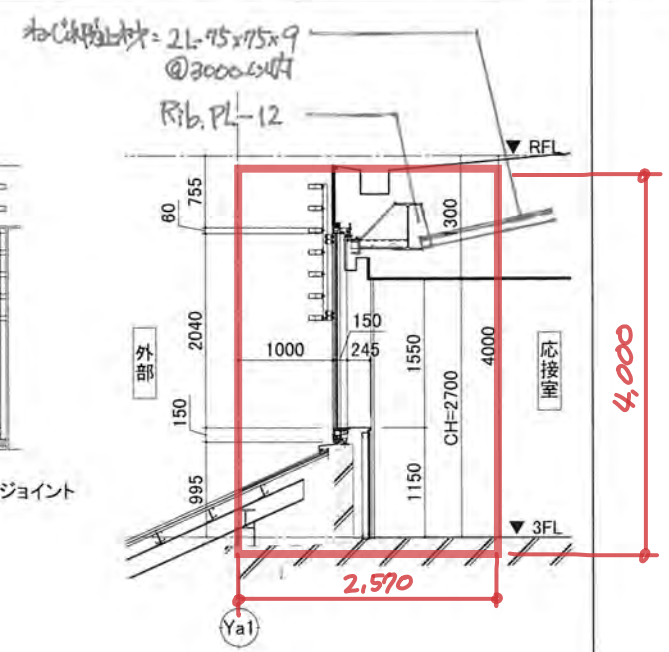


施工年度	令和3年度
工事番号	工第03-2号
工事名	奈良県立医科大学 新キャンパス造成工事
路線河川名	権原市四条町 地内
施工箇所	消防水利構造図(3)
図面種類	図示
縮尺	
技師	照査 設計 製図
図面番号	16-3
事務所名	奈良県立医科大学

No30 別紙-1 講堂図書棟分



A-ACW-1 モックアップ範囲
 (ガラス、幕板、アルミルーバー及び支持材、
 ライトBOX、膳板、金属屋根
 とりかき部含む)



設計性能仕様条件

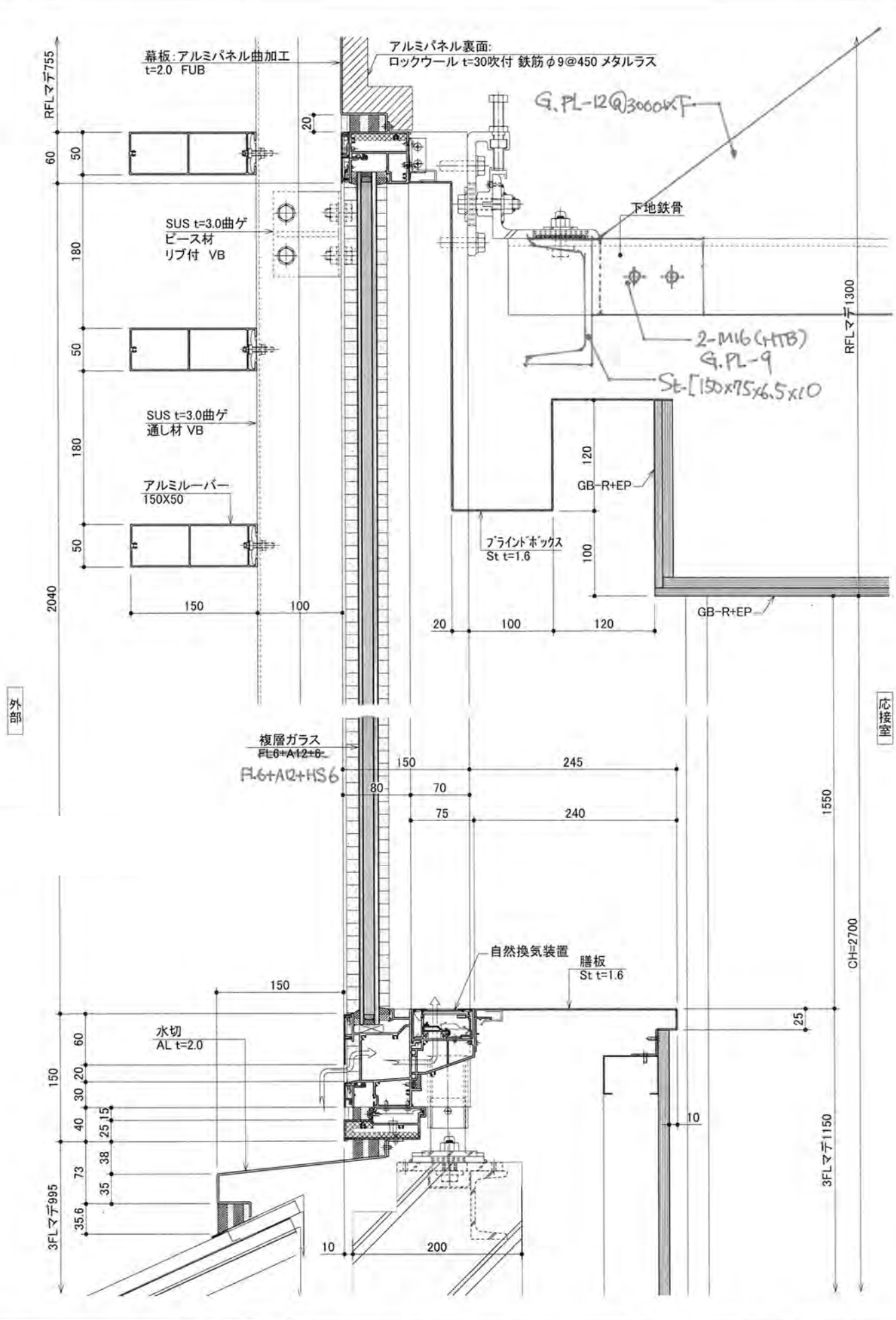
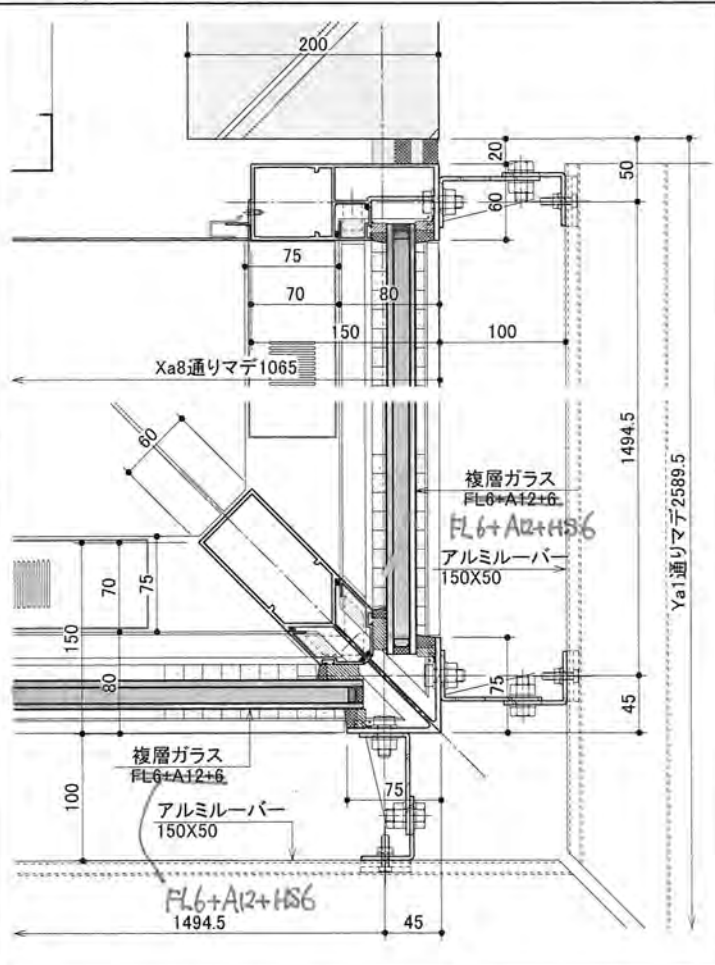
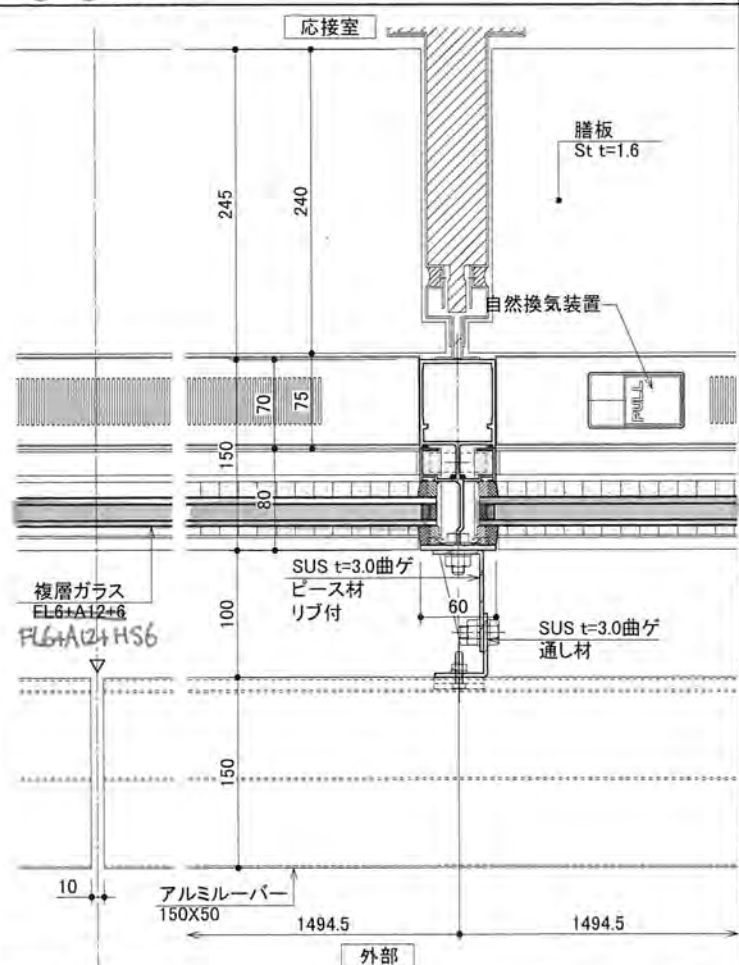
耐風圧性	S-4 (2000Pa)
気密性	A-4 (2等級)相当
水密性	1000Pa相当
遮音性	-
防火性	なし
表面処理	A1 (JIS H802:2010 に基づく)
ガラス(構造)	42mm(両層)
備考	自然換気装置 オイレスEOD エコサブリ35同等品

②-② 断面図

S:1/3

コーナー・端部横断面図

S:1/3



revisions 設計風圧力 P=1800Pa
 (告示1458号より算出)
 再掲期間:100年
 1階部 告示適用外P=855Pa



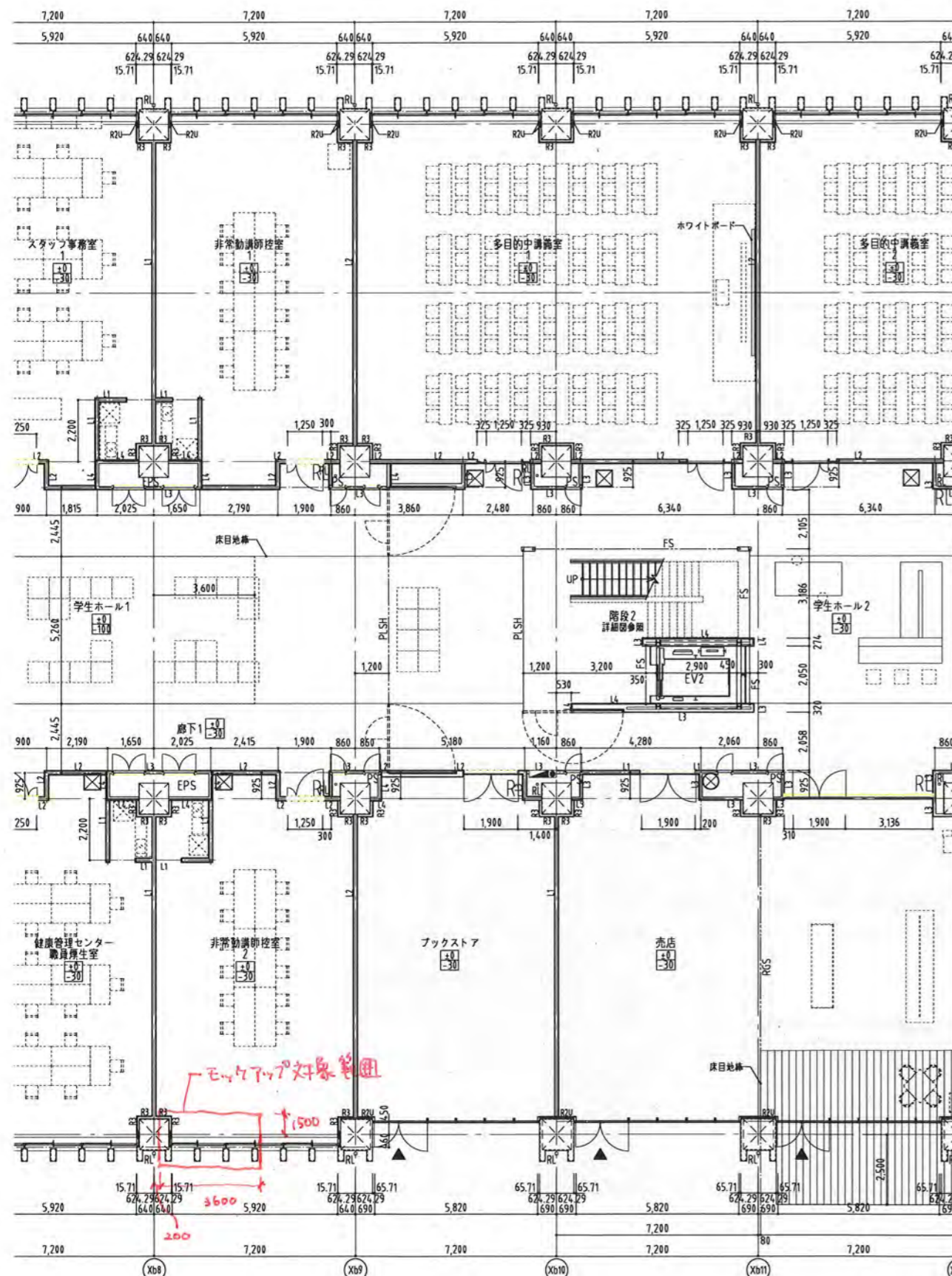
松田平田設計

project no. 奈良県立医科大学新キャンパス新築工事 (建築工事)
 A4650

建築

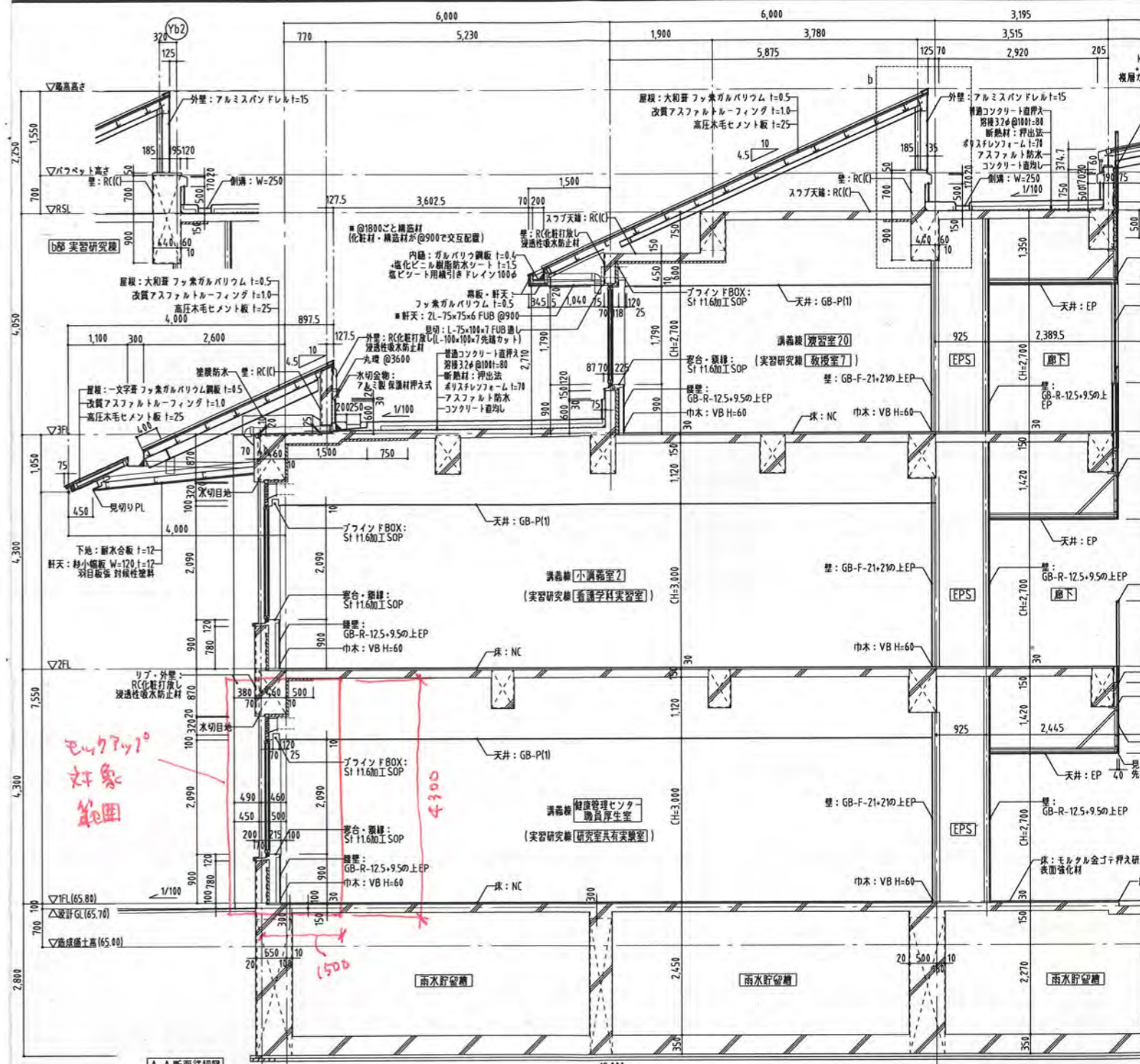
scale 図示

No30 別紙-2 講義棟分

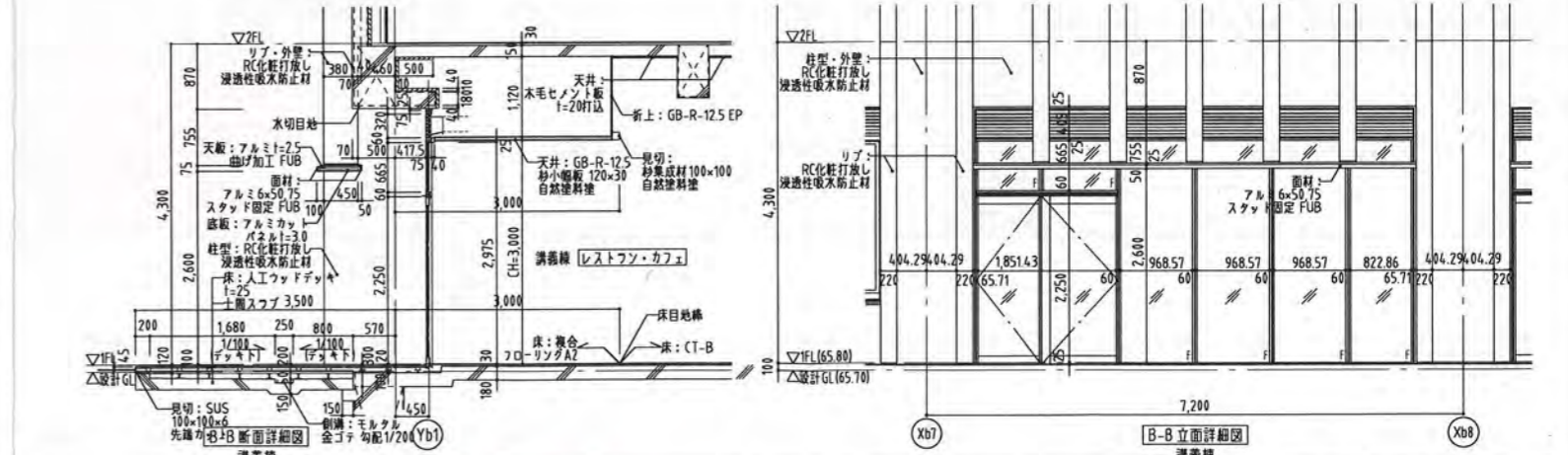


講義棟1F平面図

revisions	



A-A断面詳細図
講義棟(実験研究棟)



B-B立面詳細図
講義棟

断面図

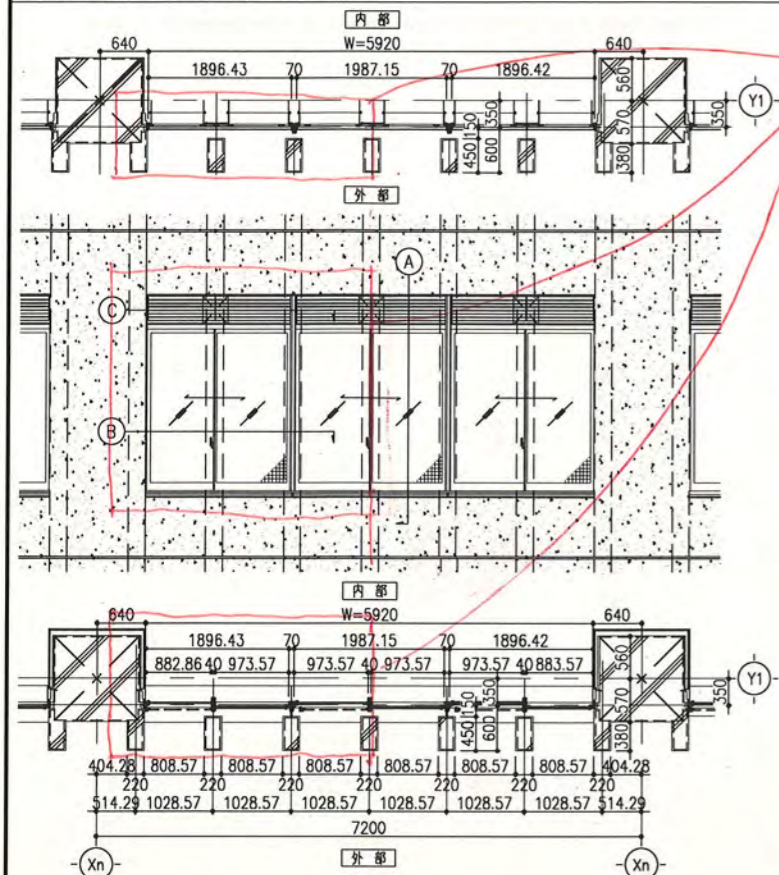


松田平田設計

project no. A4650 奈良県立医科大学新(建築工事)
 日付 代表となる設計者 その他の設計者

B. C-AW1. B. C-AG1 外観姿図

S=1/50

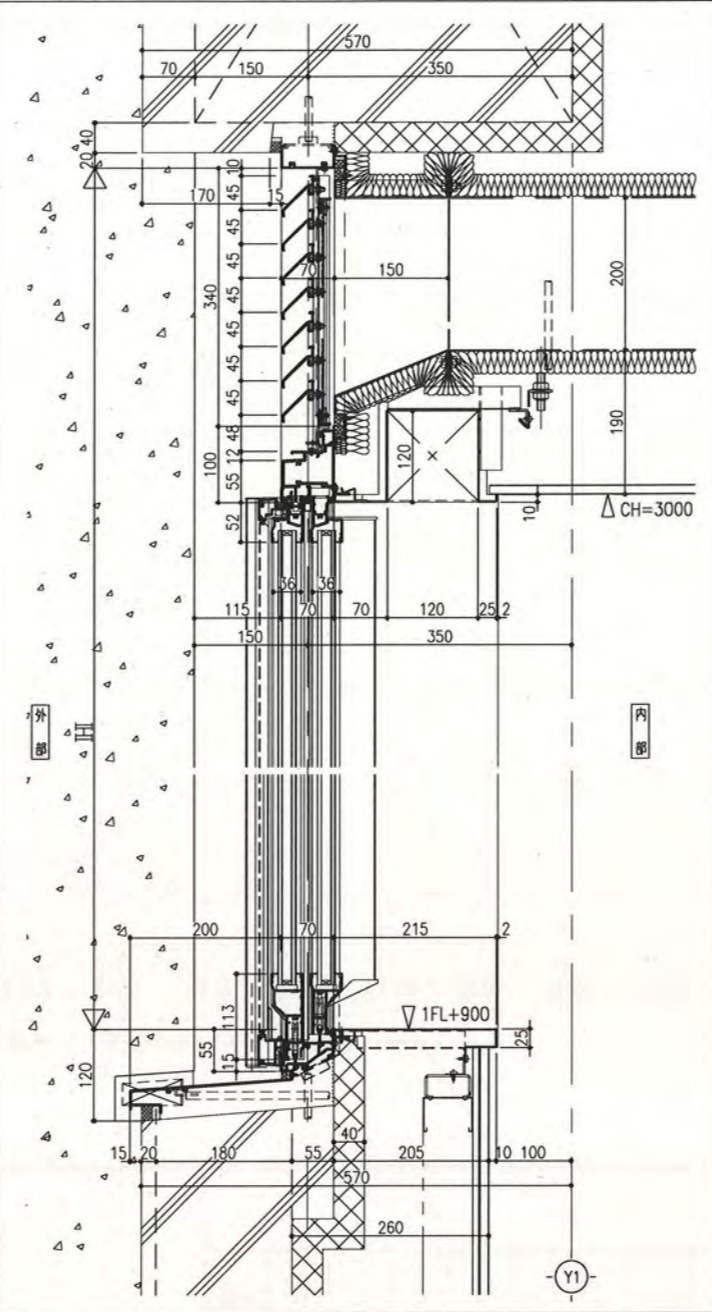


設計性能仕様条件

耐風圧性能	・ S-4 (2000Pa)
気密性能	・ A-4 (2等最良)
水密性能	・ W-5 (500Pa)
遮音性能	・ T-1 (25等最良)
耐火性能	・ 耐火設備対応なし
表面処理	・ A1 (JIS H 8602-2010に基づく)
ガラスに関して	・ 建具表による

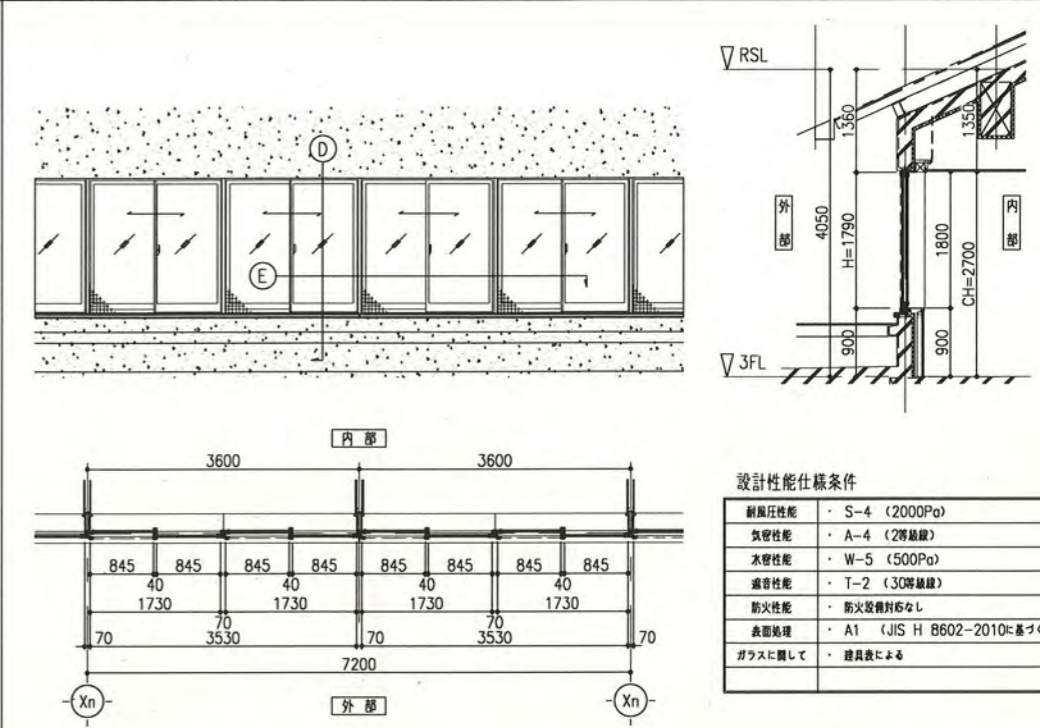
B. C-AW1. B. C-AG1 A 断面詳細図

S=1/5



B-AW7. C-AW9 外観姿図

S=1/50

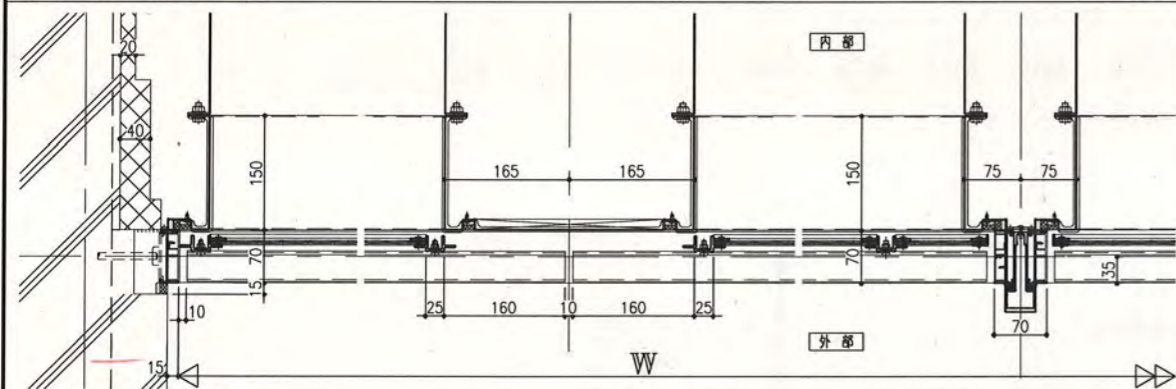


設計性能仕様条件

耐風圧性能	・ S-4 (2000Pa)
気密性能	・ A-4 (2等最良)
水密性能	・ W-5 (500Pa)
遮音性能	・ T-2 (30等最良)
耐火性能	・ 耐火設備対応なし
表面処理	・ A1 (JIS H 8602-2010に基づく)
ガラスに関して	・ 建具表による

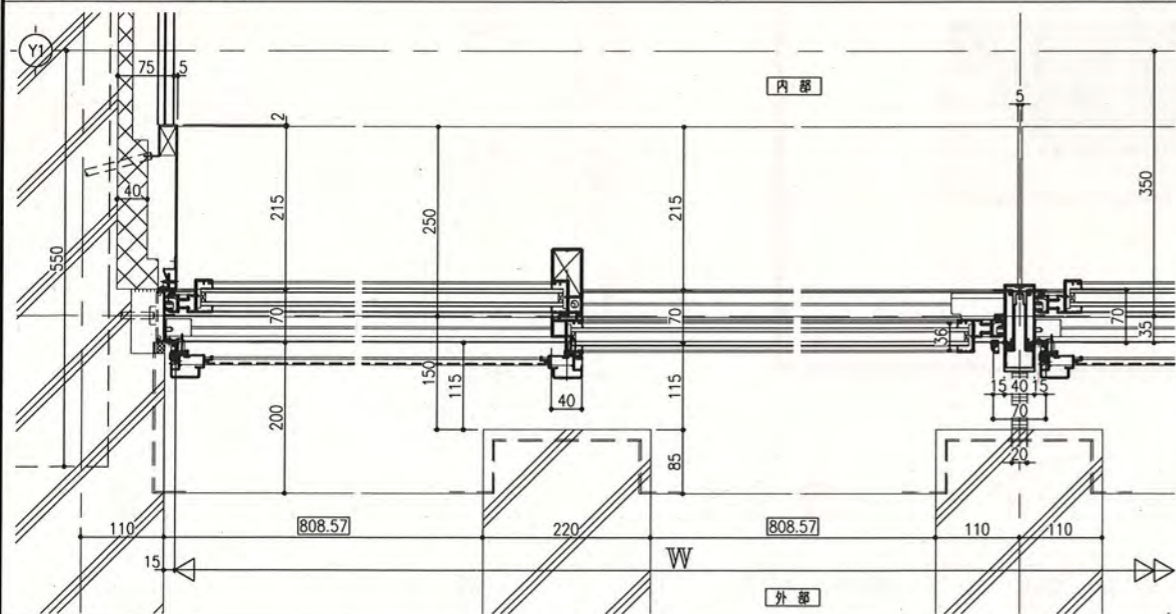
B. C-AG1 C 断面詳細図

S=1/5



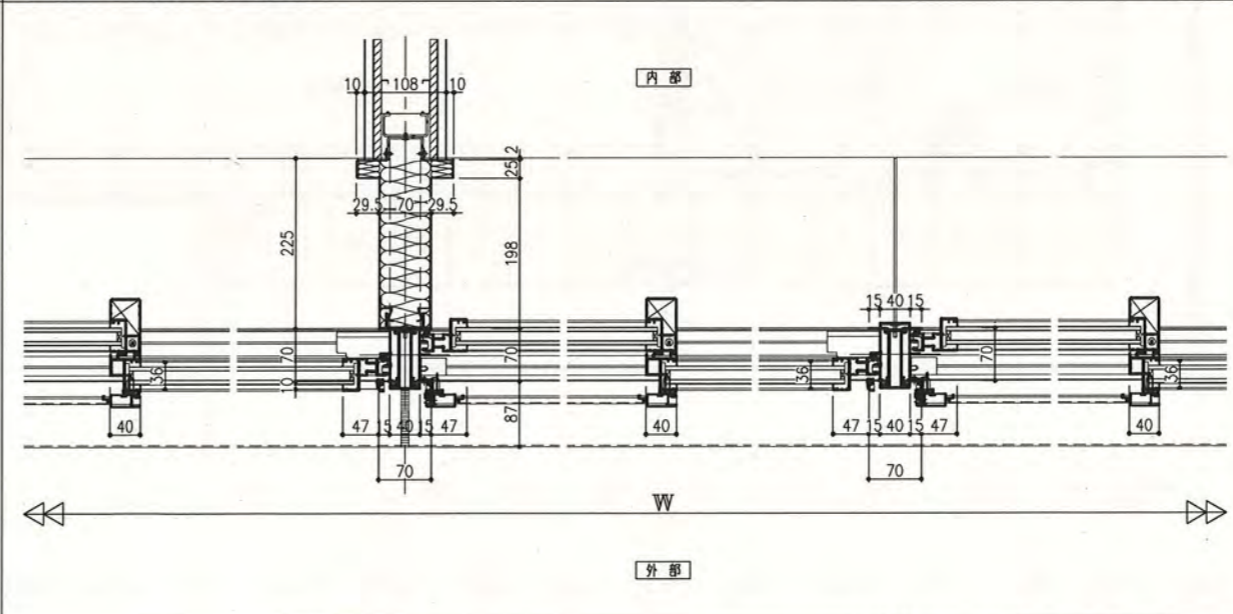
B. C-AW1 B 断面詳細図

S=1/5



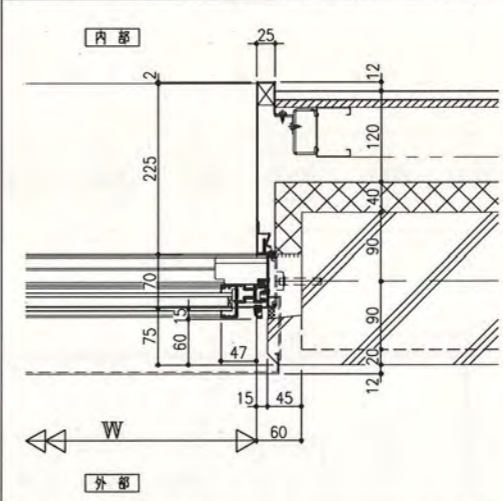
B-AW7. C-AW9 E 断面詳細図

S=1/5



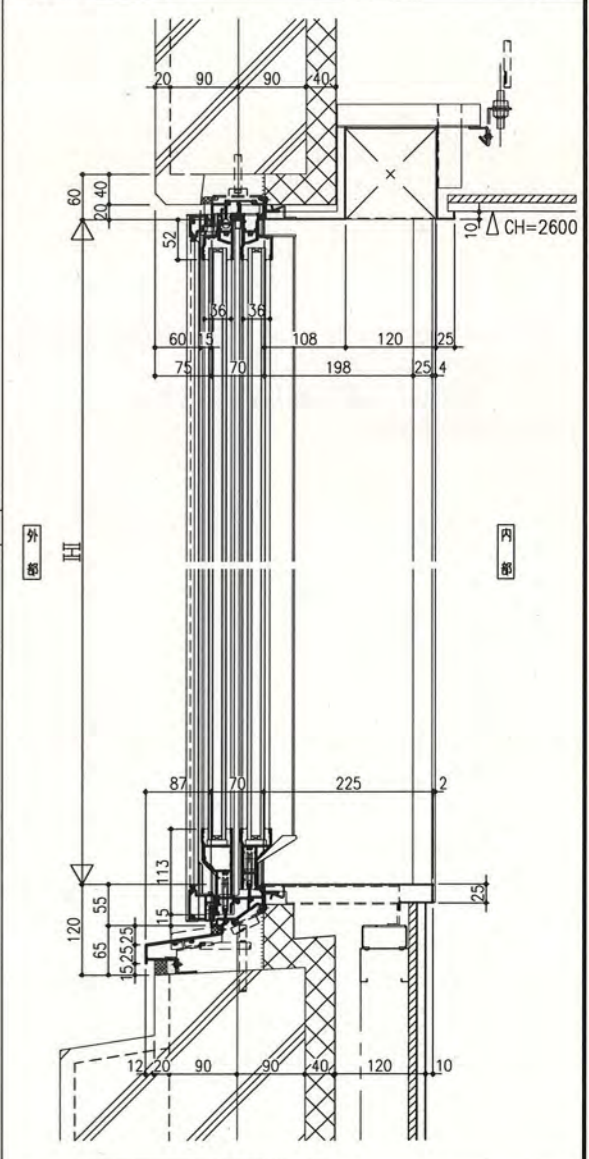
B-AW7. C-AW9 端部納まり断面詳細図

S=1/5



同左 D 断面詳細図

S=1/5



revisions



松田平田設計

project no. A4650 奈良県立医科大学新キャンパス新築工事 (建築工事)
 日付 代表となる設計者 その他の設計者

建具詳細図 講義棟1 (AW, ACW)
 scale 1:20 (A1) 1:40 (A3)

建築 5221

UOE, プレスベンド鋼管製造可能範囲

■490N/mm²級 ●STKN490B (JIS G 3475)

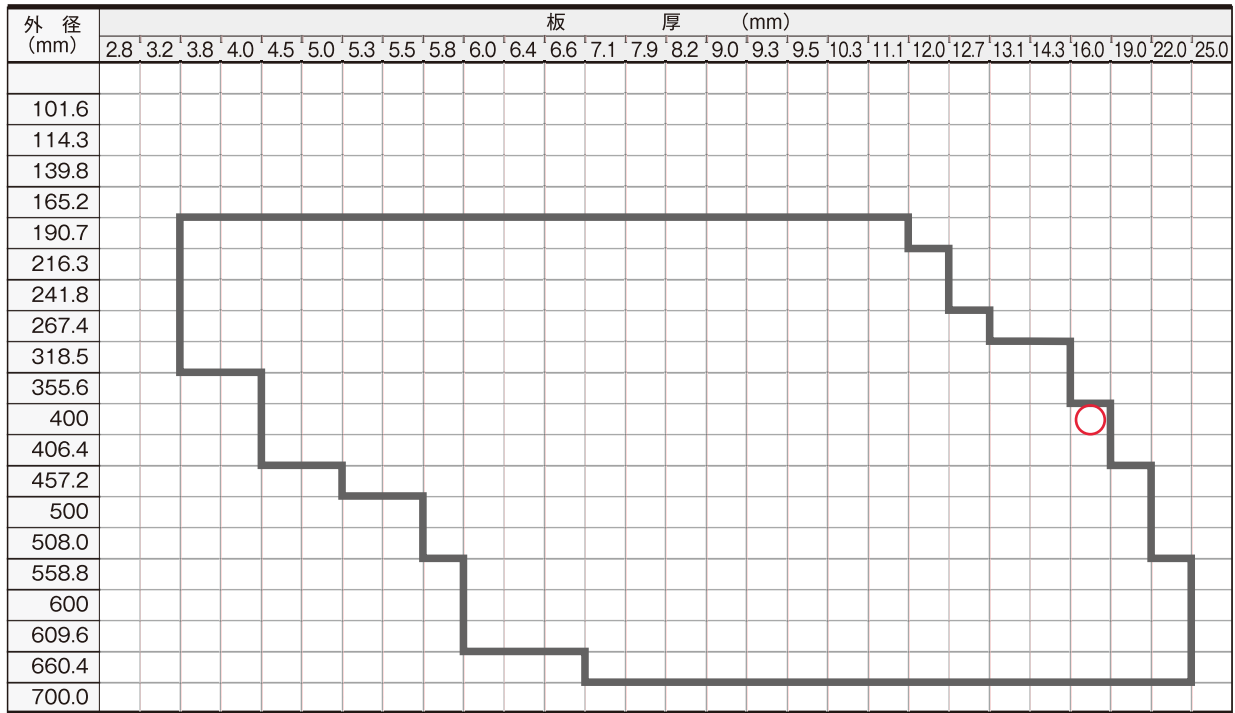
外 径 (mm)	板 厚 (mm)											
	6	9	12	16	19	22	25	28	32	36	40	
ミリ												
400		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
450		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
500		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
550		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
600		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
650		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
700		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
750		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
800		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
900		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1000		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1100		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1200		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1300		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1400		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1500		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1600		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1700		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1800		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1900		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2000		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2100		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2200		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2300		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

STK490, STKN490B
 ■ : UOE鋼管
 □ : プレスベンド鋼管
 □ (点線) : ご相談受付サイズ

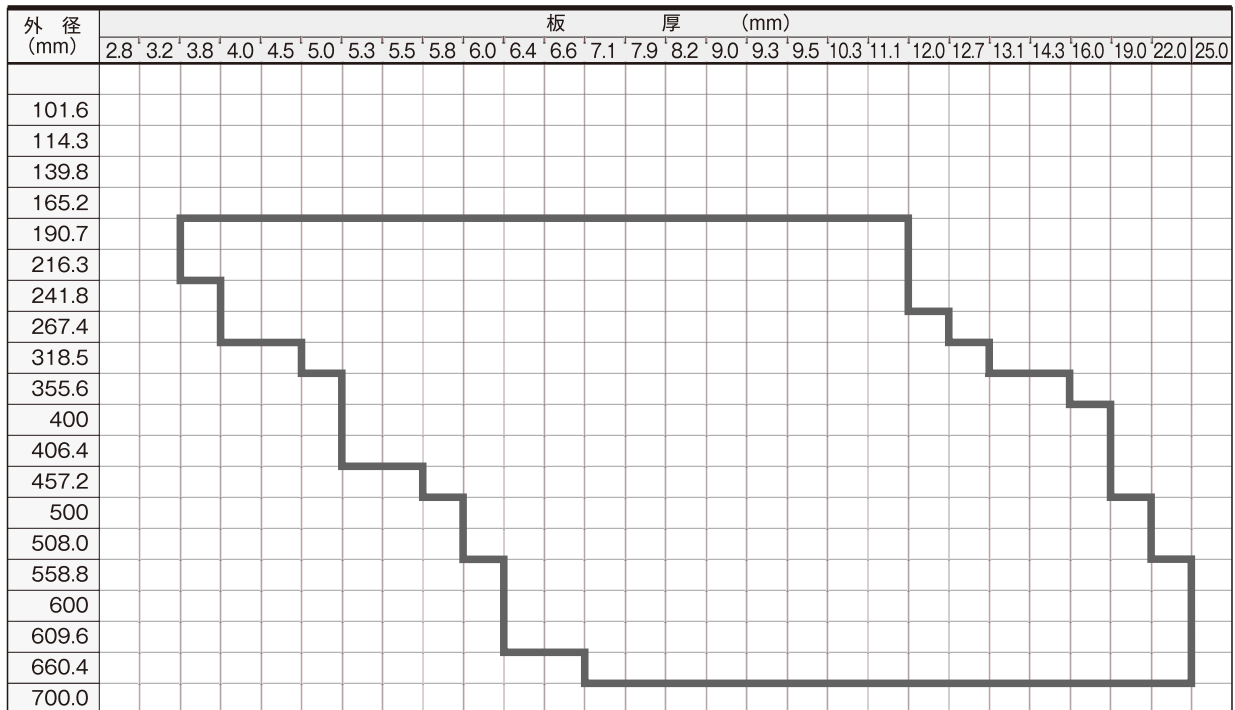
- 注： 1. 規格・サイズ・製法により製造可能長さは異なります。UOE:min.11.1m ~max.13.5m (造管max.18.0m)、
 プレスベンド:min.3.0m ~max.12.0m
2. UOE 鋼管製造可能範囲内の鋼管においても、造管精度、歩留、サイズ別数量などを考慮し、プレスベンド
 鋼管で製造することがあります。
3. 「ご相談受付サイズ」は、製造頻度の低いサイズのため、あらかじめ弊社にご相談いただき、納期等の調整
 をお願いします。
4. 上記鋼管は、原則、1シーム鋼管ですが、鋼管外径が大径となると、2シームで造管することもあります。
5. UOE 鋼管は、外径によって納期が大きく異なります。ご注文の際には必ずお問い合わせください。
6. 鋼管の寸法精度は、原則JIS 規格もしくは大臣認定規格によります。ご要望の寸法精度がこれらより厳しい場合、
 別途ご相談ください。
7. 鋼管の化学成分・機械的性質の保証値は、JIS 規格もしくは大臣認定規格によります。その他性能についてご要望
 の場合は、別途ご相談ください。
8. 上記範囲内におけるインチサイズ及び中間サイズに関してはご相談下さい。

電縫鋼管製造可能範囲

■400N/mm²級 ●STKN400W,B

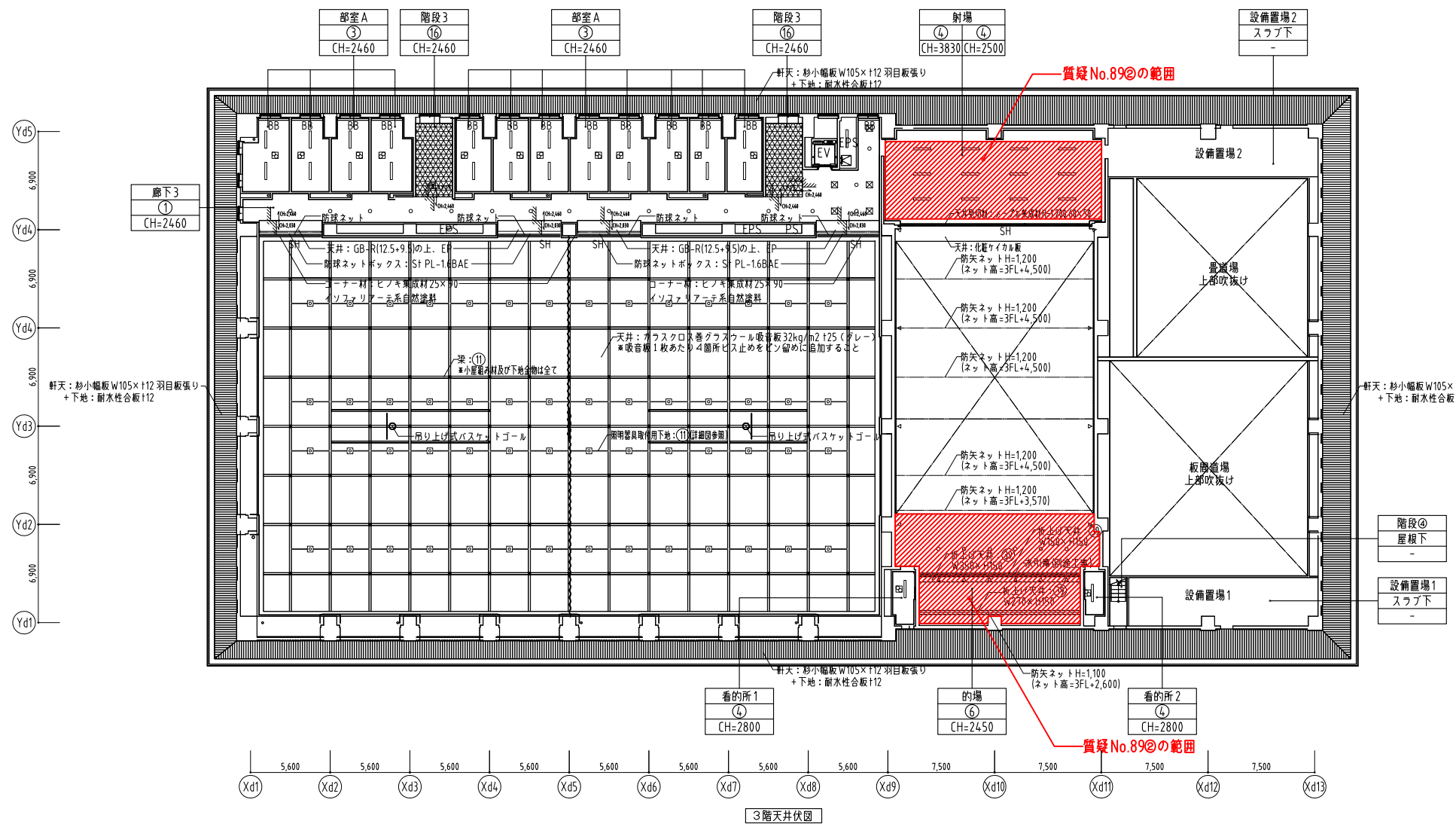


■490N/mm²級 ●STKN490B



- 注： 1. 鋼管の寸法精度は、原則 JIS 規格によります。さらに、高い寸法精度をご要望の場合、別途ご相談下さい。
 2. 鋼管の化学成分・機械的性質の保証値は、JIS 規格によります。その他性能についてご要望の場合は、別途ご相談下さい。
 3. 常時製造していないサイズも含まれますので、ご検討の際には、ご相談下さい。

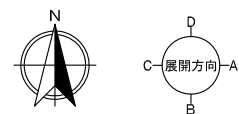
- 本書に記載された特性値等の技術情報は、規格値を除き何ら保証を意味するものではありません。
- 本書記載の製品は、使用目的・使用条件等によっては記載した内容と異なる性能・性質を示すことがあります。
- 本書記載の技術情報を誤って使用したこと等により発生した損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。



記号	内容	記号	内容
①	GB-Rの上EP	□	空調機 開口補強: 950×950
②	GB-Rの上EP(端部天井材持出し見切付)	□	空調機(防炎吹出し型) 開口補強: 650×1350
③	GB-P(1)	□	全熱交換器(1セット型) 開口補強: 950×500
④	GB-D	□	加湿器 開口補強: 650×650
⑤	ケイカル板の上EP	□	空調機 開口補強: 400×400
⑥	GB-S12.5の上ケイカル板 18 NAD	□	空調機 開口補強: 2000×100
⑦	DR	□	空調機 開口補強: 600×150
⑧	DR (黒)	□	換気扇 開口補強: 400×400
⑨	準構造天井下地のDR	□	覆付ファン 開口補強: 450×450
⑩	継合板 底目板貼	□	露出空調機
⑪	SOP	□	直付空調機 開口
⑫	RC(B)の上EP	□	直付空調機 開口
⑬	RC化粧打放	□	フイン照明 (※フイン照明の取付下地金物は建築工事)
⑭	RC(B)	□	高天井用照明 下地金物: 建築工事 (440参照)
⑮	RC化粧打放の上浸透性防水防止材	□	照明器具 開口補強: 1300×300
⑯	RC化粧打放補修の上水性無機質クリア塗装	□	照明器具 開口補強: 450×450
⑰a	木毛セメント板120打込	□	ダウンライト 開口補強: φ150
⑰b	木毛セメント板120打込の上EP	□	黒板灯 開口補強: 1300×300
⑱	木毛セメント板120打込の上EP	□	フイン照明
⑲	パンチングパネル W250連@2400 (架型: EP)	□	直付照明器具
⑲	高圧木毛セメント板15	□	直付ダウンライト
⑲	軽量天井	□	直付スポットライト
⑲	木製アルミルーバー	□	天井スピーカー 開口補強: φ250
⑲	野縁 Wバー (50×19×0.4) φ100. SOP	□	露出天井スピーカー
⑲	エキスパンドメタル	□	ホーンスピーカー
⑲	アルミ天井(リブ)	□	天井点検口 天井材同材貼込(目地タイプ): 450×450
⑲	St PL-1.6 SOP	□	天井点検口 天井材同材貼込(目地タイプ): 600×600
⑲	素地	□	天井点検口 エキスパンドメタル部: 450×450
⑲	GW32k t=50の上アルミパンチングパネル	□	天井点検口 エキスパンドメタル部: 600×600
⑲	GW-B150	□	スライディングウォール
⑲	GW-B150(黒)	□	スチールシャッター
⑲	GW-B t25(グレー)	□	スチールシャッター(隔壁連動型)
⑲	押出法ポリスチレンフォーム保温板 t=50 3種B	□	シートシャッター
⑲	押出法ポリスチレンフォーム保温板 t=50 3種B(皮付)	□	ステンレスシャッター
⑲	ビニルクロス	□	フイン照明
⑲	DR (黒)の上杉小楯板 120×30 自然塗料	□	スクリーンボックス(閉金物詳細参照)
⑲	GB-R 112.5上EP+架型不燃化粧板 t=30 OSCL小口同突板貼	□	フロアエベーターハンガー(閉金物詳細参照)
⑲	アルミカットパネル FUB仕上	□	ディスプレイハンガー(閉金物詳細参照)
⑲	有孔版 110-GW24kg/m ² 150の上EP	□	ビクターレール
⑲	St PL-1.6 FUB	□	直付カーテンレール
		CR1	吊カーテンレール(下種FL+2700)
		CR2	天井スリット 標準詳細D-10
		SL1	天井スリット(木製見切, チェンバーボックス付)
		SL2	改修部見切 SL-L-50×50×4 SOP
		MK1	天井材持出し見切(実務研究棟 階段詳細4による)
		MK2	野縁 Wバー (50×19×0.4) φ150. EP
			パンチングパネル W250
			GB-R9.5+12.5 EP(端部天井材持出し見切付)
			エキスパンドメタル
			アルミルーバー (木製)
			スラブ面: 木毛セメント板120打込
			フイン照明下地: グリッドタイプ M1 SOP
			+吊ボルト M10 SOP (440参照)
			梁: コンクリート化粧打放補修の上、水性無機質クリア塗装
			スラブ裏し遮音
			GW-B150
			天井: 高圧木毛セメント板15(下地: LGS65φ300)
			フイン照明下地: グリッドタイプ M1 SOP
			+吊ボルト M10 SOP (440参照)
			梁: コンクリート化粧打放補修の上、浸透性防水防止塗

	天井材同材貼込 (目地タイプ) 450×450	天井材同材貼込 (目地タイプ) 600×600	エキスパンドメタル部 450×450	エキスパンドメタル部 600×600
3階	40	2	3階	
2階	35	12	2階	
1階	40	10	1階	
合計	115	24	合計	

※1: 異なる天井仕上の取合いには壁見切を設ける
 ※2: 天井点検口のエキスパンドメタル部は凡例は、
 調査棟・実務研究棟ではルーバー部と読み替える
 ※3: 天井点検口の数は数量表を正とする。



revisions			

	松田平田設計	project no. A4650	奈良県立医科大学新キャンパス新築工事 (建築工事)	体育施設棟 3階天井伏図	建築 3402
		代表となる設計者 松田平田 建築士 360376 号	その他の設計者 松田平田 建築士 360433 号	scale	